京城日報
（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）

○第三十八議會召集

第三十八議會召集の件は愈々十日御裁可あり十一日官報を以て左記の詔書各大臣副署の上公布せられたり（東京特電）

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月廿五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名御璽

大正五年十一月十一日

各大臣副署

○佛租界問題と三國調停

天津佛國租界擴張問題は所謂だけに內外の注目を惹き居れるが日英露三國公使は佛支兩國間に立ちて調停の勞を執る事に決し目下支那政府と調停條件に就て協議中なりと（北京特電）

○日露佛と對支關係

三國同一の立場＝將來注目に値す

日、露、佛は對支關係に於て近時同一の立場に在り一國が交涉案件に付退讓を爲すに於ては他の二國に影響するより先般英人間に協商國は同一步調を取るべしとの說起り露佛の贊成あり日本の同意にて成立する狀態なりしが今回の老西開事件は其の第一步として之を實行したる觀あり之れ一時の現象なるも此關係の將來は大に注目に値すと某外交通は語れり（北京電報）

○彼我主張の接近

鄭家屯事件に對する支那政府の意嚮漸次我が主張に接近し警察權擴張軍事顧問招聘の件も國會の抗辯を慮るゝのみなれば早晚解決を告ぐるに至るべし（北京電報）

○ウ井ルソン氏再選は確實

加州の投票に於てウヰルソン氏は三千票の多數を以て同州の投票數十三票を收めし爲めウ井ルソン氏の再選は確實なり（紐育電報）

○大統領再選と日米貿易

ウヰルソン氏米國大統領に再選疑なしとの報ありヒユーズ氏の關稅政策に悲觀せし當業者は日米貿易の將來に關し安堵の色あり（東京電報）

○佛伊總司令官密議

佛軍總司令官ジヨツフル將軍と伊太利軍總司令官カドルナ將軍と會見軍事上の重大事項に關し密議を凝せり（紐育電報）

○林公使の滿洲行

林公使は十四日北京出發本野大使と長春に於て會し同車打合の上奉天にて張作霖將軍と會見の筈にして此行は鄭家屯事件の解決を期する爲なりと傳へらる（北京電報）

○司令長官更迭

第一艦隊司令長官吉松中將は大將に陞進し橫須賀鎭守府司令長官藤井中將其後を襲ふ事となるべしと傳へらる（東京電報）

○秘書官叙位

松元遞信杉大藏兩大臣秘書官に對し十日附左の通り叙位の御沙汰ありたり（東京特電）

叙從五位 遞信大臣秘書官勳四等 松元剛吉

叙正七位 大藏大臣秘書官 杉宜陳

○大屋長官

大屋鐵道局長官は十一日朝高麗丸にて釜山に上陸同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

○吉原氏一行釜山滯在

前東拓總裁吉原三郞、前理事林市藏、井上孝哉、村田俊彥の四氏は十日夜釜山解纜の新羅丸に一旦乘船したるも海上風波の虞ありし爲め再び下船し一同鳴戶旅館支店に投宿天候回復次第出發すべし猶吉原前總裁の病勢は憂ふべき程にあらず（釜山特電）

○總督來任期

長谷川總督は陸軍特別大演習參觀後更に東京に歸りて赴任の準備を爲し本月末若くは十二月匆々東京發來任の筈なり

○政務總監張宴

山縣政務總監は十一日午後六時三十分より入京中なる內閣書記官長兒玉秀雄伯を朝鮮ホテルに招待、送別を兼ね榮轉祝賀の宴を張る

○昌德宮御內宴

昌德宮にては十一日午後零時より入京中なる內閣書記官長兒玉秀雄伯並に同夫人を招かれ宮植物園溫室にて送別の御內宴を張られたり

○兒玉伯送別會

京城官民有志の發起に係る前總督府總務局長兒玉伯爵送別園遊會は既記の如く十一日午後二時より朝鮮ホテルに開催せり、來會者は總督府並に所屬官署の高等官、軍、師團、憲兵隊司令部各將校、李王職、東拓、鮮銀、朝鮮其の他諸會社銀行主要職員、朝鮮貴族、內鮮人實業家等數百名に達し非常の盛況裡に午後四時散會したり

十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

○兒玉伯滯京日程

十日夜入京せる內閣書記官長兒玉秀雄伯は十一日朝自動車を驅て總督府に赴き總務局長室に入りて事務の引繼を爲し山縣政務總監と面談時餘の後各部局を廻りて正午退廳朝鮮ホテルに入れるが午後は夫人帶同昌德宮の御內宴に臨み二時より朝鮮ホテルに開催の官民合同送別會に出席の上六時三十分更に朝鮮ホテルに於ける山縣政務總監の招待宴に臨席したり十二日は午前總督府に出頭事務の引繼ぎを了へ午後は零時半夫人と共に京城ホテルに於ける愛國婦人會主催の送別會に臨み更に六時より朝鮮ホテルに擧行の木島事務官結婚披露宴に列席の筈なり

○兒玉伯退京期

兒玉內閣書記官長は家族を纏め十四日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發退京の事となれり

○釜山と兒玉伯

兒玉內閣書記官長の來鮮に就き釜山官民有志相謀り盛大なる送別會を催さんと協議中なるが兒玉伯の十四日京城發の豫定を十三日に繰上げ十四日朝釜山に來著を請ひ同日同伯夫妻を東萊溫泉に招待し同日午後釜山に於て官民有志合同の送別宴會を開かんと協議中なりと（釜山）

○榮轉祝賀會

總督府農商工部高等官二十三名は十日午後五時半より小原農商工部長官、上林忠清南道長官、田中山林課長の三氏を精華亭に招待其の榮轉祝賀會を開けり

○三屬官送別會

農務課安河內屬は驪州郡物產陳列館長（奏任待遇）に商工課屬小池英勝、農商工部長官附淸水萬兩氏は東拓參事に何れも不日轉任の事となれるより農商工部職員一同百餘名は十一日午後六時より右三氏を花月に招待其の送別會を催す

○工業教育調査會

總督府にては十六日午前十時より第二會議室に工業教育調査會を開催の筈なるが當日は各委員全部の出席を見る可し

○東亞貿易研究會

釜山東亞貿易研究會は十一月例會を十日午後二時より釜山商業會議所構內商工俱樂部に開催し曩に決定したる浦鹽及び哈爾賓貿易研究並に朝鮮貿易品の仲介の爲め派遣員の經費手當等給與に就き委員の報告あり浦鹽派遣員に滯在費手當其他を合して一箇月二百五十圓哈爾賓は同上百五十圓を給與すべく滯在期は先づ六箇月とし其成績を攻察して繼續すべく之れが經費醵出に付き銀行會社及び個人より既に確定せる寄附金額一千圓尚ほ四百圓內外の未確定あるも之れ又異存なきものゝ如くなれば彼是れ一千五百圓位は募集し得べしとの報告あり而して該派遣員は來る十三日釜山出港の安平丸にて出發の豫定なりしに計らずも浦鹽禁輸問題起りたる際なるを以て事實調査の爲め今暫らく出發を延期すべしとの說ありて協議の結果該問題の眞相を確むる迄派遣員の出發を延期することゝ決し午後四時散會したり（釜山）

○仁川發達史の編纂

仁川府にては九日の役員會にて愈々多年の懸案であつた仁川發達史の編纂をする事に決した史料は一寒村たりし濟物浦開港當時から今日に至る約四十年の間に於ける仁川進步發展に關するもので仁川は他の「長崎」「釜山」の如く比較的長い歷史を有して居る處とは違つて急激に膨脹發展したにも拘らず歷史の短かい割合に史料が豐富であるが例へば日清戰爭以後ワリヤーク、コレーツの擊沈迄は常に軍艦が入港して居つた爲め自然物資の供給が盛んで軍港地らしい色彩に富んで居つたが夫れ以後は純然たる貿易港となつて凡ての世態が全然變遷した事や現今朝鮮に植栽せられて居るアカシヤが明治十五六年頃上海から日本公園に移植せられたのが先鞭となつて今日ポプラ、アカシヤが全鮮に植栽せらるゝ樣になり世間にやつと流行する頃には山上の埋立築港等に依つて市街地の廣袤は倍に大に加へて現今では非常に著しい變遷を生じた事など數へ上ぐれば其の著しい變遷は澤山あるから出來得る限り市民有力者や古參者や各官廳の長官を顧問に網羅して隱れた史料の根を掘り起して蒐集する積である（仁川支局）

○禁輸問題と日本

濱岡光哲氏談

京都商業會議所會頭濱岡光哲氏は朝鮮視察の爲め十日午前八時四十分入港の新羅丸にて來釜同十時三十分發京城行列車にて京城に向け出發同地一泊平壤を視察する筈なるが山停車中記者に語りて曰く

朝鮮を視察に來りしは今度が始めてで嘗て寺內總督より是非一度は朝鮮を視察すべく慫慂せられしも公私用件多忙の爲め其意を果さず今日に及びしに偶ま小閑を得たるより京城の模樣を視察したく豫て宿望の箕子の舊蹟を探らんと平壤迄赴くべく都合に依りては其他も觀光すべき積りなり（記者が英國の綿絲物並に莫大小禁輸に關して問へるに答へて）從來英國に輸入せられ居りし下等綿布及び莫大小は主として獨逸墺太利より供給を仰ぎ居たるに事變の爲め輸入途絕し其結果

▲我國に供給を仰ぐの有利なるを悟り同地輸入商と我莫大小製造業者間に交涉の結果見本及び製品の需要多大なるより從來の如き粗製濫造の憂なき完全の製造を望み我製造業者も大に意を用ひ以來注文の量漸次增加して從來二十萬圓內外の輸出に過ぎざりし莫大小綿布類は昨年の如きは八百八十萬圓の多額に上り本年は近く一千萬圓以上に達せんとするが如き盛況を呈し自然工場の增設より職工の數大阪のみにても十五六萬人の多數を要し尚其下職を加ふれば二十萬人にも及びたるに俄かに英國は

▲輸入禁止の令を發布したるを以て我當業者の恐慌狼狽は尤もの次第なるが我々も英國大使に對し事情經過を陳べ種々交涉し居れるが既に八月十五日巴里に於て聯合國側の委員に因りて協定せし經濟同盟會の主旨に戾りたる不當の禁令に對し抗議するところありしに駐日英國大使は我意を諒とせしも畢竟該禁令の要旨は只船腹調節の爲めにして未だ日本政府よりは諾否の回答に接せざる今日なるを以て大使としての意見も發表の時期にあらず然し伊太利の如きは既に法令を發布したる例あるも彼我事情の異なる點も承知し居れば及ぶ限りの盡力を吝まず有利の解決を見る可く努べしと答へられたるに對し我々は現時我海運界の狀態より郵船商船等の輸送力に充分の餘裕ある實狀を說き巴里會議の所謂

▲原資共通の主旨に基き追究を試みしに大使は之れに對して何等答ふる所なかりしが本件に就きては我外務省にも相當交涉を重ねつゝあるを以て我國に對しては特に該禁令に除外せらるべく觀察せらる、露國政府の浦鹽輸入禁止令も是亦た浦港に輸入せらるゝ軍需品の停滯夥しく矢張り輸送調節の關係より餘儀なく斯る方法を採るの止むを得ざるに至れるなるべしと觀察せらる余の內地出發の際には既に實施さるべきことを確聞したるも本年の如きは約一億萬圓にも及ばんとする一大供給の途を絕たれんとするは我國の經濟界に大なる損害を釀すべき問題なるを以て全國商業會議所も出來得る丈けの手段方法を講じ該禁令の解除を露國大使及び露國政府に向つて極力交涉を重ね專ら運動中なれば一時は禁輸の實施を見るべきも是れ亦た近き時機に復活せらるべしと信せらる余は出發後の經過を知るに由なければ果して如何の成行に進みつゝあるやは確知せず（釜山）

群山

▲客月貿易 群山稅關支署調査に係る十月中群山港輸移出入貿易狀況を聞くに米穀輸出期に入りたるを以て輸移出貿易額の激增を示したり即ち輸移出品價格の重なるものは米穀二十四萬七千三百零一圓大豆六千七百九十一圓牛皮五萬四千二百三十七圓金礦及び冰鎭六千九百八十四圓等にして輸移出總計價格金三十二萬八千三百三十九圓に達し輸移入品價格の重なるものは小麥粉七千零二十八圓食鹽一萬三千三百三十圓砂糖三千三百十圓淸酒四千二百九十三圓石油二千三百九十八圓綿絲綿布及び打綿五千四百十八圓綿織絲八千二百十七圓生金巾及びシーチング十二萬九千七百五十四圓晒金巾及晒シーチング一萬三千四百三十一圓日本木綿五千四百三十七圓洋紙五千三百二十八圓其他紙類二千三百八十九圓鐵釘三千五百九十三圓煙草五千六百七十四圓陶器及び磁器二千八百四十一圓木材及び板三千百二十七圓叺繩及び莚三千六百八十五圓マッチ六千八百六十五圓等にして其他輸移入總計價格金三十萬六千九百十一圓なりと

仁川

▲久水府尹入京 事務打合せ傍々兒玉伯送別會參列の爲め久水府尹は十一日午前十一時入京同日歸任の筈▲高木病院 仁川仲町高木病院は豫て新築中なりしが此程落成したるを以て十二日午後五時より仁川官民有志百餘名を招待し成落祝宴を催ほす▲高女修學旅行 仁川高等女學校にては十一日午前七時梱峴驛發一三年生二四年生開城へ修學旅行をなしたるが生徒父兄及び卒業生も參加したり▲和田校長出張 仁川商業學校長和田英正氏は京都東京方面に學事視察の爲十一日發の處都合に依り十三日頃に延期▲山下書記見學 平壤府山下庶務主任は事務見學の爲め九日平壤發十日京城十一日は仁川府廳に至り同日午後五時半入京大邱釜山等を經て內地に向ふ由▲仁川商議評議員會 仁川商業會議所にては十日午後六時半評議員會を召集し大豆運賃問題を附議したるが其結果鐵道局に於て共益者同樣の條件の下に一般商業者に特定運賃を均霑すると謂ふも畢竟幹線本位にて短距離割引の如きは到底實現し得べきに非ざるを以て鐵道局が今後如何なる案を以てするも對人割引には絕對に反對をなす事に決議し其の實行方法としては新總督著任早々開催さる可き全鮮商業會議所聯合會の議題として決議し親しく長谷川總督に陳情をなす可しと

春川

▲聯合運動會 春川公立小學、普通の三校に於ては五日午前十時より普通校々庭に於て立太子禮奉祝聯合運動會を擧行せらる會長武藤第一部長開會の辭を述べ立太子禮奉祝唱歌に次ぎ三校生徒交々規律正しく五十餘番の競技をなし最後に來賓職員の競技あり午後五時會長閉會の辭を述べ一同無事散會したるが當日は幸ひ天氣晴朗にして來賓席生徒保護者父兄席一般觀覽席とも立錐の餘地なく見物人稀なる盛況を極めたり▲村井訓導榮轉 春川公立尋常高等小學校訓導村井拾次郞氏は今回尋常小學校々長に榮轉し十日京春自働車にて出發赴任したるが兒童父兄一般の見送盛大なりき▲小學校生徒試食會 春川公立尋常高等小學校五年生以上は今回村井訓導轉任に際し送別の意を表し九日午後四時より平素兒童の實習に係る蔬菜類を以て牡丹餅薩摩汁甘藷天麩羅等を料理し校長以下一堂に集り試食會を催したるが席上村井訓導の惜別の辭後任町田訓導の挨拶あり生徒一同手製の御馳走に滿腹退散せり

黃州

▲三郡聯合品評會閉會式 黃海道鳳山、瑞興、黃州三郡聯合物產共進會は十一月十日豫定の如く大盛況裡に閉會式を擧行したるが午前十時一發の烟花を合圖に一同式場に參集、黃州郡守會長として開會の辭を述べ鳳山郡守の審査報告あり次で黃州郡守全錡大氏出品入賞者に對し褒狀授與をなし會長式辭を朗讀道長官代理二部長矢島晉次氏長官告辭を代讀し來賓祝辭受賞者總代穗坂秀一氏及び林興爾答辭を述べて正午十二時散會したり▲黃州品評會審査成績 黃州郡邑內に於て開催の三郡聯合物產品評會の審査成績は出品二八五〇點受賞者總計四一七名內玄米一等黃州公立農學校後明同郡朴元一大豆一等鳳山郡李逸根黃州郡林興爾同郡田村菊一小豆同郡李珠同郡李達元苹果黃州郡一等穗坂秀一同郡石井安二郞、明治農會、志賀恒彥、甘藷三等瑞興郡新幕農場甘藍等なり因に參考館內參考品中黃州公立小學校大根鳳山郡下村農場西田源吉氏出品の造花及び朝鮮興業會社の農場模型は特に人目を引たり▲品評會雜況 黃州品評會は十一月一日より十日間開場中の入場人員は內鮮人を合して二萬二百人にして一日平均二千二人の割合なり開會中特に人目を引きたるは餘興の假裝行列提灯行列、武術大會等にして旅館料理店は客間の狹少にて客を謝絕するの盛況なりき▲黃州城內の大運動會 黃州郡品評會は十一月十日終了を告げたるが黃州邑內人士は十一日一大運動會を開催すべしと▲黃州の武術大會 黃州外二郡重要物產品評會開會として本月九日午前十一時より會場內廣場に於て擊劍大會を擧行したるが劍士は黃州警察署及び在鄕軍人會を始め附近各驛の有志等三十七名來會し龍攘虎搏の戰を演じ最後に五人拔試合及び兼二浦三菱製鐵所城島師範及び中和郡芦川書記の模範試合あり午後四時閉會したるが當日は閉會前日の事なれば非常の盛會を極めたり

平壤

▲平壤府書記の出張 平壤府書記山下正道氏は府行政事務視察の爲め本月九日より京城、大邱、釜山、馬山、木浦の各地へ出張せり▲米穀檢査成績 一月より鎭南浦に於ける穀物檢查所の檢査は直接之が執行の任に當り居れるが其成績を聞くに七日迄の檢査穀數は一萬四千九百六十叺にして其內不合格數約百叺ありたりと▲大分農林學生見學 大分縣立農林學校生徒は九日午後十時三十分著列車にて來壤十一日早朝より市內及び附近の戰跡を見學し尚同校林業科生徒は苗圃を養蠶科生徒は養蠶講習所を見學したるが見學生徒數は二十九名なりき▲公立普通校開校式 平安南道順川郡舍人場公立舍人普通學校は本月十一日午前十時より開校式を擧行したるが平南道廳より山縣警務係主任長官代理として出張せり同校は今回新設せられたるが入學生徒百三十六名校長は鎭南浦尋常高等小學校訓導相馬登氏任命せられ過日赴任したるが教員は校長外三名なり

義州

▲平北農作豫想 平北道に於ける第三回農作物收穫豫想高を聞くに水稻五十二萬六千八百六十三石陸稻四千五百六十六石にして前者は前年に比し五分七厘增後者は七分五厘增なりと▲平北農作輸出高 大正四年會計外輸出高を聞くに白米三萬七千二百九十六石玄米四萬五千百八石粟六千二百二十三石なりといふ▲西鮮島布敎 地方に於ては支那安東縣致和堡揚子溝布信金基督なるもの耶蘇敎に關する書籍七千餘冊を頒布して傳道に從事し居れりといふ▲農畜產共進會 義州に於て開催中の義州郡農畜產品共進會は出品點數三千餘點に達し日々二千名以上の觀覽者ありまた出品物の品質は近來長足の進步をなし得たる農業を立證するに餘りありと

人事消息

▲渡邊龍氏（釜山地方法院司法官試補）十日夜入京東京旅館へ

▲大邱農學校職員生徒一行二十五名十二日夕退京の豫定

▲大屋鐵道局長官十一日午後九時歸任

▲若松兎三郞氏（釜山府尹）病院長の勝備を兼ね展墓の爲め十五日出發福岡を經て京都へ

▲佐藤潤象氏（朝鮮郵便鐵道會社常務）十日兒玉伯を送りて京城に赴き同伯送別宴會に列したる上歸釜すべし（釜山）

▲フイツシヤー氏（東京青年會幹事）十一日朝京へ

▲京城駐在英國領事十一日朝仁川へ

▲上林忠淸南道長官十三日朝仁川へ

○將去太華亭留三絕　無佛　陳人

里仁遊敎所曾諳、孟母三遷我自慚、欲去低回還願望、晚秋風物滿庭酣、
任運騰騰隨處寬、鵲巢更托一枝安、手栽櫻樹將加大、付與他人自看看、
八角碑留面目眞、千年老栢後凋新、今朝臨去憑誰語、莫使名園汚市塵、

◉滿洲は子供が能く育つ
——滿洲醫學大會に參列して——工藤ドクトル談

本月三日四日兩日大連に於て開催せられたる南滿醫學會大會に出席し其序を以て旅順の關東都督府醫院大連の關東都督府檢疫所及び大連滿鐵病院等を參觀し滿鐵病院中の

▲模範病院と稱せられ居る撫順病院を見たる後奉天及び安東縣の滿鐵病院を視察したるが南滿洲各地に於ける邦人一般の衞生狀態は至極佳良にして大連旅順奉天撫順安東縣等に於ける衞生設備は都督府及び滿鐵の誇りとする處にして取つて模範とするに足るべきもの頗る多し關東都督府の統計に由れば邦人移住の當時に在りては滿洲の氣候風土は日本に比して甚だしく異り寒冷暑熱の激變及び甚だしき空氣の乾燥

▲風力の強烈なるに加へて地質の關係上砂塵甚だ多き等の爲め呼吸器病の百分率は内地等に比して高く一般の健康狀態亦良好ならず明治四十年頃までは生産率に比して死亡數遙かに高かりしが漸次氣候風土に對する適應性の發達と一方衞生設備の完成と共に明治四十三年頃より分娩數は漸次死亡數を超ね大正二年の統計に由れば人口一千人に對し

▲人口の增率は十七人となり大正三年には十八人の增加を見るに至れり之れを明治四十三年の内地人千人に對する十二人朝鮮居住内地人の八人大正元年に於ける臺灣居住内地人の十四人等に比し滿洲の人口增加率の急速の進歩を爲しつゝあるを見て一面に其の衞生設備の完成しつゝあるを卜知す事を得る次第である關東都督府が其の衞生施設の實蹟を示したるは明治四十三年度の

▲ペスト流行の際及明治四十四年より四十五年に亙る虎列拉流行の際に於てさしも猖獗を極めたる此の二回の流行病も都督府管内には一人の患者をも發せしめざりし手際は賞賛に値するものあり關東州の衞生施設は軍政時代より最も努力したる處にして其の醫療機關の如き京城等に比し極めて進歩的に整備せり、

▲邦人の間に 赤痢及び腸窒扶斯患者が支那人に比して比較的多數に發生しつゝあるは事實にして之が原因に就て取調べたるに支那人が赤痢窒扶斯等に冒されざるは彼等は幼時に於て虚弱なるものは大低死亡し先天的に強健なる者のみ生殘り居るを以て病氣に對する抵抗力強きと一つは彼等の善良なる一つの習慣として飲食物は必ず煮沸したるものを用ひ大道に於て

▲煮沸湯を賣る者甚だ多きを見て其の良風なるを感じたり滿洲地方に於ては氣候烈寒又は酷暑にして婦人病者の數多かるべしと一般に想像さるれども事實は然らず之れ朝鮮と同じく強健なる者のみ多く渡來居住する關係あれども亦室内の保温裝置の佳良等にも因る處多かるべし初生兒の生育等に就ても又

▲室内の保温 裝置完備せる爲め初生兒の最も冒され易き氣候の急激を感ずる事尠く小兒生育の上より見て滿洲の寒氣は左して畏ふるものにあらず

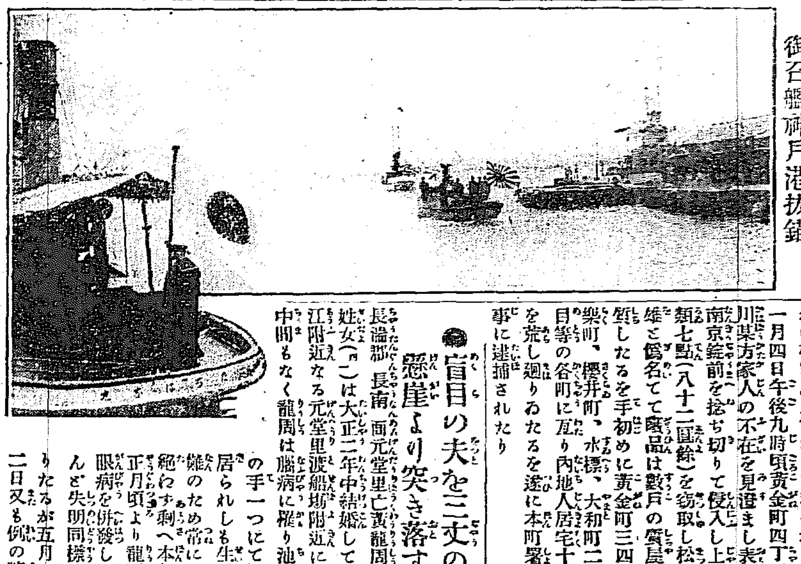
聖上陛下 神戸驛より埠頭へ行幸

□畏し、御心
皇后宮御使 御差遣の事

皇后陛下には大元帥陛下福岡行幸陸軍特別大演習御統裁遊ばされつゝあるに就き御旅情御奉伺として皇后宮主事三室戸敬光氏差遣の御沙汰ありたるを以て同主事は命旨を奉じて十二日午前八時三十分東京驛發福岡大本營に奉伺する由(東京特電)

◉女房は薄情者
夫婦同居の請求訴訟

京畿道高陽郡龍江面新孔德里居住金淳昌(四二)は其妻にて京城紅把洞姜元成方同居姜淳年を相手取り夫婦同居の請求訴訟を京城地方法院に提出せり其の要旨に依れば兩人は大正二年十一月三日正式に結婚し爾來同棲中妻淳年は大正五年二月中故なく逃げ出して前記の所に別居し同棲の要求に應ぜざるにあり之に對し妻淳年の抗辯要旨に依れば最初結婚する際家屋敷等の財産あり生活上不自由を感ずる事無しとの事故承諾したるも實際に於ては同棲すべき居宅もなき貧乏人なるを以て淳昌に欺かれたるものにて夫婦として同棲すべき情義なしといふにあり右に就き裁判所にて取調べの結果金淳昌は結婚當時動産ありしも其後借金の爲め競賣に附せられて喪失し目下一日日給八十錢許りの收入もあり妻が同棲の意志あれば直ちに借宅すべしとの事にて女の申立ては理由立たざれば同棲すべしとの判決となりたり



御召艦神戸港拔錨

◉最初の列車に湧き返る歡び
——活氣づいた北鮮——
楠野府尹等の大ニコ〳〵

鐵道局では六日淸津蒼坪間の新開業線路に試乘の臨時列車を運轉した、午前九時五十分五輛の客車を連結せる列車の出發時刻が近まると案内を受けた淸津羅南鏡城其他の官民有力者は思ひ〳〵の服裝で或は

■トロを轉ばし 或は徒歩で續々淸津新停車場に參集する桑原綾江長官病氣の爲め三田第一部長山崎事務官が道廳から出て來る水間警務部長も來る羅南旅團及び第七十三聯隊の上長官以下が多數見へる淸津よりは楠野府尹米山稅關事務官白井署長岡本日報社長其他無慮三百名と云ふ大した人數鐵道側の新田所長佐藤加賀岡本各技師田代參事補等が赤い徽章をつけて接待の任に當る、定刻發車各驛で

■居住民の送迎 あり、移り行く窓外の風物を多くの人々は稀らしく眺め乍ら多年希望し續けて來た鐵道の漸く實現して、淸會間の一部とは云へ、列車の運行を見るに至つた事を少なからぬ感慨を持つて喜んだのであつた『便利になつたなー』とは差し向き第一に何人の頭にも浮む事實である、此の鐵道が開通せぬ迄は淸津蒼坪間の交通はトロに依らねばならぬ、すると三圓の賃錢と七時間の時刻を要するのである、然るに今後は

■僅々一時間で 六十六錢の三等賃金を拂へば無事に氣樂にトロで當然感ずる危險なしに旅行が出來るのである、人々は線路兩側の山々に立木の少ない事を語り合つた、と或る古參官吏は其の理由を簡單に說明した、何故沿線に木が少ないか？全く輕鐵を敷く爲めにドシ〳〵枕木橋材等に伐採したからである、其後トロが水害を蒙れば蒙むる度に復舊工事用として

■盛んに伐り出 した、然し一歩此野山を越ねて奧に入ると千古斧鉞の入らぬ大森林が鬱々として連なつてゐる……水間警務部長は沿線に於ける鑛業を說く、楠野府尹は淸津港灣改良の急務と吉會線敷設の急を語るドノ客車も〳〵歡談笑語湧くが如しで凄じい賑はいだ、列車が正午蒼坪驛につくと數日前より鐵道局で準備してゐた驛前セメント大倉庫内の食堂に

■一同を案内し たゞ爆竹が盛に鳴る、倉庫の内部にはトンネル工事用の電氣を利用して盛に電燈裝飾が加へられてあり來賓の面々をアツと云はせた、淸津紅裙三十餘名並に仲居二十名は前の列車で來てゐたからすぐ甲斐々々しく酒間を斡旋する模擬店がアチコチに十も出來てゐた午後二時蒼坪發の臨時列車は酒に心地よく醉うた數百の人々を乘せて淸津に歸る車中一二の醉漢を出し又無闇にメートルを上げて

■萬丈の氣焰を 吐く人もあつた四時淸津著それから姑らくして五時すぎより歌舞伎座に淸津官民主催の鐵道開通大祝賀會を擧げられた楠野府尹が開會の辭を述べ港民今後の奮勵を促し、三田第一部長は長官の祝辭を代讀し新田所長は招待されし好意を謝し淸會線は將來國際鐵道となるべき重要な鐵道だとも云ひ祝電朗讀後 陛下の萬歲を三唱

■藝妓の手踊り 數番あり酒間は淸津紅裙連約百名總出にて取り持つた、來會者三百名、此地未曾有の盛宴で集まつた人のどの顏にも鐵道の開通に嬉しげな色がアリ〳〵と現はれてゐた(六日淸津にて特派員西海生)

◉錠前破りの賊

京城本町四丁目居住熊本市壽山町生れの松田辰尾(三八)は前科一犯あり十一月四日午後九時頃黃金町四丁目黑川某方家人の不在を見澄まし表戸の南京錠前を捻ぢ切りて侵入し上等衣類七點(八十二圓餘)を窃取し松本芳雄と僞名にて贓品は數戶の質屋に入質したるを手初めに黃金町三四、永樂町、櫻井町、水標、大和町二三丁目等の各町に亙り内地人居宅十一戶を荒し廻りゐたるを遂に本町署の刑事に逮捕されたり

◉盲目の夫を三丈の懸崖より突き落す

長湍郡長南面元堂里亡賓龍周妻池姓女(四二)は大正二年中結婚して臨津江附近なる元堂里渡船場附近に同棲中間もなく龍周は腦病に罹り池姓女の手一つにて養ひ居られしも生計困難のため常に風波絶えず剩へ本年舊正月頃より龍周は眼病を併發して殆んど失明同樣となりたるが五月二十二日又も例の喧嘩を初め龍周は小刀を以て池姓女に斬り蒐りたれば池姓女は寧ろ殺害して後の面倒を絶たんと件の小刀を奪ひ取りて龍周の前頸部に突き刺したるも急所を外れ龍周は約三丁許りなる臨津江岸に退走したるを追跡したる池姓女は約三丈の懸崖より龍周を江中に衝き落して溺死せしめたる事件は此程京城地方法院にて懲役十五年の判決を受けしも不服とし同覆審法院に控訴せり

□京城秋八景——(三)青もの市場 北門の蕃椒と平壤の栗が路傍に聳つて勝手なお國自慢に耽つて居た。揉れ合ふ籠の中には冷い白菜と大根が隱れて居り、向ふの隅では村夫子甘粟先生が門下生との離別に太い淚を見せて泣いて居た。夏の様に南瓜が帯瓜も品陳する舗面には荷箱は見られないけれど、こゝには大根の葉を見るもつた女中が大根を批評して居る皮肉があつた。(晃)

◉二人組の強盜

數日前全南寶城郡寶城面江道里下相俟(三七)方へ二人組の強盜闖入し相俟を叩き起し同人の頭髮を引摑みて金を出せと脅迫したるが相俟が無しと答ふるや賊は勝手に屋探しをなし眼覺しき物品なき處から今度は隣家なる相俟の實父下順明方に赴き朝鮮式の庖丁を順明の咽喉に當て散々脅し文句を並べ立てたるも此れ又た無一文にて物にならず依て賊は燈火を點じ屋内隈なく捜査したる上麻織布白木綿等合計八圓餘の物品を强奪逃走したるが急報に接し所轄憲兵隊にては鋭意犯人の行衛嚴探中なりと

◉路傍で縊死

十日午前七時頃京城三淸洞路傍のポプラにて縊死を遂げ居る朝鮮男あるを發見し鍾路警察署より警官醫師出張檢視せしが賤しからぬ風采をなし金の入齒あり推定年齡三十歲位なるも何所の者とも判明せず而遺留品中に京城紅把洞一一六林昌燁と印刷したる名刺及び同名の印章あり又別に福昌洞一五二李善嫄宛の信書一通ありこれを手掛りとして身元取調中

◉壹岐丸入港せず

十日午後釜山入港の筈なる關釜連絡船壹岐丸は風浪の爲め航海途中より下關に引返したる旨入電ありたり(釜山特電)

◉虎疫二名發生

慶北盈德郡江口にては七名の患者發生以來當局は必死となりて警戒中なりしが又も九日夜に至り内地人一名鮮人一名の虎疫新患者を出したり(大邱)

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽川柳題「狸」

○汽車の客狸寢入で席を取り(一等) 龍山鐵道官舍八六の一 山家香公
▲狸寢のいびきなか〳〵具合もの 長門 萩花
▲芒野の月に狸の腹つゞみ 京城 東梅
▲狸寢をするのも時にあてがあり 開城 しぐれ
▲山寺も狸が住んで名が上り 龍山 岡本小草子
▲强慾な狸大家と店子泣き 京城 神崎白樂天
▲人間に化かされるなと親狸 義州 松月
▲成金か狐狸の友となり 京城 赤晩

■課題及び募集規定は欄外にあり

◉梨花洞の小火

十日午前十一時京城梨花洞白雲瑞方温突の焚口より發火し内部を約半間燒失せり

◉驛夫列車に觸る

八日午前九時二分慶北淸道發大田行列車が同驛を發車せんとするとき同驛々夫田上彌之助は列車に觸れ頭部腰部に重傷を負たりこの報に接したる大邱驛よりは慶北鐵道醫出張し應急手當をなし直ちに大邱慈惠醫院に擔込みしが生命危篤なりと

◉土中に埋沒す

去る八日午前十一時半頃全北裡里森田忠次郎方雇人茨城縣那珂郡山形村生れ井阪己五吉(四五)は鮮人々夫四十餘名を指揮して裡里驛構內北方に於て土工從事中俄然土塊崩壞して身體埋沒したるより直ちに裡里分隊に急報したれば同分隊より係官出張し手當を施したるも遂ひに同日午前十一時三十分絕命したり

◎善隣文藝大會 龍山善隣商業學校に於ては十一日午後より同校の文藝部大會を開催したり

◆十七年前の貸金
催促して毆り付けらる

京畿道楊州郡九里面橋門里雜貨商蘇學(五七)は十七年前同面葛梅里の姜一萬(四〇)より現金四圓を借用し十一年目に一圓支拂ひたるも殘金三圓は其儘となりゐたるが偶々十一月五日路上にて出會し一萬は蘇學に返金の督促をなし借りた金を返さぬ奴は泥棒だと惡罵し居れるを聞きて驅付けたる蘇學長男高元相(三〇)は大に憤り俄かに背後より一萬を毆打し治療數十日を要する負傷をなさしめ目下京城分隊忠愛里憲兵派遣所にて取調べ中

◉高女修學旅行

京城公立高等女學校生徒第一學年生より第四學[illegible]

[illegible]位の内地人男兒が遊び兒となりて泣き居るを通り蒐りたる若草町の小間[illegible]なること判明し同人を召喚し將來を嚴戒して留を引き渡したりと

[illegible]

■文藝課題募集規程

■募集規程 ▲用紙は端書又は型同樣の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賻賞は一[illegible]

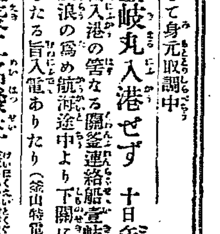
天氣 ▲晴れ時々曇り (十一月十一日午後六時迄)

[illegible]

十一月十三日より廿日迄
閉店大賣出
各品共大見切にて從來の直段の三分の一乃至半額位の大放賣
弊店儀 永年多大なる 御同情の下に格別の御引立に預居候處今般一時閉店整理する事と相成候 就ては平素御愛顧を蒙り其御禮として破天荒の大廉價を以て 大賣出し仕候間是非共 御來店の上 多少に不拘御買上の榮を賜り度希上候
京城本町 辻屋

MALT-EXTRACT K.O. BONBONS
理想的滋養劑 世界的名聲 現代的特色
セキトメボンボン
[illegible]用意せられよ
和光堂

有給社員募集
明治公債株式會社
京城黃金町
釜山幸町 釜山幸町 大邱東城町 太田榮町 群山曙町 平壤本町 元山仲町 淸津敷島町 咸興大和町 木浦大成洞
朝鮮支部
朝鮮外事部 釜山出張所 大邱出張所 太田出張所 群山出張所 平壤出張所 元山出張所 淸津出張所 咸興派出所 木浦派出所



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
ウテブ化粧品代理店ですから
……卸値がお安いです
京城本町二丁目角
古城贊化堂
電話一〇二番振替七三七番

列車にて龍城に向へり 朝日新聞京城の…

◎黄金町の迷ひ兒 九日午後十一時京城黄金町二丁目の路上を四五歳…保護者の搜索中午前一時頃に至り本町三丁目居住後藤いとの長男望（二）…

子供に厚著をさすな

▽乳は何うしてやるか

外氣が急に冷かになつて來たので皮膚の柔かな小兒達は油斷をすると風邪をひいたり

◆**氣管の病** に冒されたりします。殊に寒くなつたからとて急に厚著をさせたり室内で帽子を被らせたり、襟卷などをさせたりするのは却て皮膚の

◆**抵抗を弱**くして風邪をひき易くします。又嬰兒の頭をくる〳〵坊主にして清潔にして居る人がありますが、それよりは頭髮はいゝ加減にして

◆**入浴の度**にきへ洗つてやれば宜敷い。それから今は一般に食慾の進む時で嬰兒も乳をよけいに飲みたがりますが、其の結果腸胃を痛めるものが多い樣です

◆**これは乳**を吐いたり、大便の色が變つたりするので直ぐ解りますから早く手當をしなければなりません。又乳を與へる時間は、生後二箇月位迄は晝は

◆**二時間目**毎に夜は四時間目毎に飲ませ、三四箇月後は晝は三時間、夜は二回と云ふ樣にします。又牛乳の薄め方も生後一週間から三週間位までは

◆**牛乳一合**に水三合と云ふ割合で七八箇月位になれば牛乳一合に水五勺と云ふ割合に薄めますが、牛乳は煮過ぎると

◆**消化が惡**くなりますから注意しなければなりません。九箇月以後は牛乳を其の儘與へても宜しいでせう

紐と糸 流行いろ〳〵

今年は生糸や綿類の騰貴のため絲類や紐類が非常に騰りましたので、俗袴や袷布の紐、コート紐などに新しい流行物が出て居ますが、みな相當に高くなつてゐます先づ

◆**帶留では市の狹い紐類**に刀の目貫を金具に用ひたものが流行して居ります。これは金、銀、赤銅などで細工が中々精巧であるのに品物が割合に廉價で求められると云ふ點から、一つは流行つて居るやうです、さ云へ形の形には中々凝つたものがございます、それから年若い人達に喜ばれて居るのは觀世よりの帶留で

◆**色は單純なものが多い**樣であります、それからお孃さん方の袴布の紐はすべて房のないものが流行り、コートの紐は共切れの紐が少しすたれて來て組の紐が流行つて來た樣です。又絲類はこれから裁縫の季節に入るので、最も需要の多いものですが、紡績糸も絹糸も外國に輸出されるので値が騰り昨年よりは四五割も高くなつて小資本では困るのに困つて居ります

柔道秋季大會

十二日午前八時本町警察署道場にて京城講道館柔道研究會の秋季大會を開き幼年部丁年部合して四十組の仕合あり尚有段者の仕合もあるべく定めて盛會なる可し

◉**鐵道俱樂部總會** 龍山鐵道俱樂部にては十二日午後一時より定期總會を開く由なるが餘興として武術大會、落語、手踊、浪花節、活動寫眞等の催しある筈

朝鮮鐵道沿線狩獵案內 ―2―

▲**素砂方面** 素砂驛より北方四里金浦邑附近は、水禽と獵獸の好獵場にして南一里の丘陵地は雉獵に適し鳴禽なども獲らる、富平驛より一里半富川は雁、鴨多く、獵趣に妙なり。

▲**議政府方面** 抱川街道は驛前より東南に蜿蜒たり、中途水落山の溪谷に水流ありて、山鳥、紀州の棲息するあり、山系京元線の獵場の彩多なるに至り、又は獸猟野禽の狩場にして、湖南線の水禽獵と並び稱せらる。東方三里乃至四里松隅附近の森林には雉、鶉、約五里元山街道に沿ふ森林には野猪、鹿など獲物多きなり。倚京驛の北約二里の地方は狩獵の適地にして東豆川附近東場附近の山野亦頗る多し、高一里半を隔てたる山内面、紙面附近は獐、野猪の棲息するあり、京元線屈指の獵場として聞ゆ。

▲**鐵原方面** 所謂朝鮮アルプスの壯觀は此の驛より東北方金剛山支脈に起る、人煙稀薄、樹木鬱蒼、古來より野獸の棲息するもの多く、壯烈なる猛獸狩の勇者は此處より始まる、驛の東西二里は雁、鴨、南北二里內外は獐、猪多く狩獵家の豫誕する處とす、隣驛月井里、大光里も亦獵に適する獵し。

▲**福溪方面** 驛西平康の平野は獐獵に絕好の獵場にして平康驛の北方二里には甲川城趾ありて雉の繁殖甚だ多し、驛東嶺の高峯を越ゆれば金剛山に至り野猪、野鹿の獵域に入る。

▲**三防方面** 此邊に在る十四箇の隧道、十九箇の街梁に跨るたる汽車の響よりも恐ろしき獸の吠聲は、冬枯の澤に獵家を勇躍せしむ、豹、猪、狐は山中奧深く潛むも今なり、其所は所謂三防峽の勝地なり、洗浦驛の南面小丘を越ゆれば雉獵に宜し。

▲**高山方面** 高山邑は驛より一里半にして達す附近の山野に雉、獐の獵場あり野猪亦少からず。

▲**文山方面** 驛の南、院岐川に沿ひ下ること一里半、河口龍津に至れば鴨の群集するもの多く兩岸は西面ありて容易に射距離に近くを得べし。

▲**永興方面** 邑の周圍を環流する龍興江は雁、鴨類の集る所にして結氷前後の飫敢は狩獵に適す行程約二里とす更に道路に沿うて咸興平野に進まば雁、鴨の雲集するを見るべし又驛より六里を隔つる宜興面及び二里の仁興面は雉獵の好適地にして

▲**金村方面** 金村驛の東北一里程にして鎮川上流に達す、初獵期の頂及び三月以後は、鴨多し又東方扶州街道は行程一里、狗峴、雉獵の好適地にて、獐、兎などの獸獵も亦す、汶山驛前を西流して松嶺川と合併するものは汶山川なり、此の行程二里弱にして、北方三里の臨津江岸と共に鴨獵場として聞ゆ雉亦多し。

▲**開城方面** 西方鷄林山は一里南方豐德街道の山林は約二里、共に雉の根據地とす又長湍驛の南面から丘陵を左方に迂回し、馬尾川を渡渉すれば兩家坐の畑地にして雉多し土城驛の北二里中西面、鵲嶺里及び嶺道道獨井驛に至る約四里牛は雉多く、南方二十町、碑小洞及び一里半碧瀾渡の對岸より白川附近は水禽の獵場を以て聞ゆ。

▲**汗浦方面** 汗浦驛より牧幸子には三里鳳川、舟村には二里牛、外邑面、陵洞には二里にして共に雉獵の本場なり此邊獐甚だ多し、南川驛附近又好獵場たるを失はず。

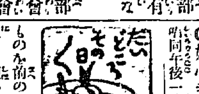
▲**新幕方面** 物開、新溪、瑞興水の各驛附近は山野に雉の棲息するもの夥しく全線にかける代表的獵場にして新幕は實に其の中心地とす

▲**鎮南浦方面** 冷淡の黄海道の一角に嚴冬尙は不凍の好樂獵あり、鎮南浦の入江を横ぎり永串に達し九月山を右に迂回する三里、長連に至りて山麓を南進する四里半、殷栗チヨンゲンを過ぎ更らに七里行かば文化に到着す、活道到る處に溫泉湧出し、土地溫暖なる爲雁、鴨の恰好の保護地として群集す、此地に鮮人の溫泉宿あり數日の滯在獵なり、九月山麓一帶は雉、鳩の棲息又多ければ此等の獲物も有望なり、冰結期には沙里院驛より僅に三里の行程にて文化に著すを得。

▲**定州方面** 南方三里海山面一帶の水田及び西南二里酢の水田は雁、鴨多く西方二里伊彥面及び獐頭川附近より潮行する二里の地點にも亦多し、鴨及び兎は北方三里なる東州面の高峴面並に北方三里の高峴面山中及び伊彥面松林中に棲息す、蹤獵は東州面附近山中にて樂むを得む。

▲**良策方面** 良策驛附近は鴨獵に富み、白馬驛附近は初獵期及び二月下旬は雁、鴨集合す獵地としては驛附近の小川堤最も良し。

だいどころ その日〳〵



△栗金とん 栗の皮をむきてやわらかに茹であくびき砂糖に入れて中火にかけ暫くきてさつま芋の皮をとつて薄く切りゆでて裏漉にかけたるものを前の中にふり込み煮切りみりんを加へて煮つめ塩を少し加へて又も煮つめぼた〳〵位までなりたる時にてよび砂糖を少しく入れて一寸煮て火よりおろしさまして盛る（清水さま子）

神社とお寺と教會

◉**金光教會秋季大祭** 永樂町金光教會の秋季ノ祭は時局のため延期中の處愈々來る十二日午後正一時より同教會所に於て舉行し生沼仁川教會長祭主となり天野龍山教會長、金教師等參列し修祓、祝詞、玉串奉奠の式あり吉備樂の奏納もありて式後說教に次で來賓に祈拜參拜者一同に直會の配布等なす由

○メソヂスト教會（十二日午後二時南大門三丁目監理教會）禮拜說教（題「苦痛の意義」エフ、エチ、スミス氏（午後七時三十分旭町二丁教會）共同會說教「ヨブ記の教訓」惠岡牧師

○龍山日本基督教會（漢江通）十二日午前八時四十分日曜學校同十時禮拜說教「日々の十字架」同午後七時半傳道說教「人生の價值如何」

○京城日本基督教會（長谷川町）日曜學校十二日午前九時禮拜說教「低き心」同午前十時禮拜の要求」午後七時日牧師

○京城基督教會（南米倉町）午前十時朝拜說教「徹底せる信仰」午後七時夕拜說教「罪惡の全滅」岡村牧師

○救世軍の集會 十二日午後八時より永樂町二丁目救世軍京城小隊に朝鮮司令官フレンチ大佐、同大八田房物特別傳道集會あり來聽を歡迎す

○本能寺御會式 本願法華宗本能寺にては來る十二日午後四時より逮夜法要を營み十三日午前十一時より鮮人信徒參拜を中心としての法要を勵修し式後常泉講師の說教あり

○妙心寺 十二日午前十時より無詠歌講の說教十二日正午より婦人會あり同午後一時より婦人會催

…年目に當り于支一巡の…以て本紙の誠意を表する…共に…印せんとて智証に換へて同郡下鹿川面事務所建築費に金十圓、慶州公立普通學校生徒貯金獎…

…小杉種三郎、前田藤二、土野良助、加藤吉…入六八 二等（三十名）和田九藏、同俊郎、森野友四郎、同きし、同八重子、同遠藤一、阿部志、品田…

△發付「汽車と汽車」… △俳諧「鼠」… △大阪川柳「鼠」…

同十五日 同十六日 同十七日 同十八日 記に限る

一週間以内に到着せしものには五十錢書籍券を呈す（但何號何號と明記に限る）

需要期と撫順炭

朝鮮に於ける石炭界は昨今最盛期を目前に控へたることゝて需要頓みに激增を示し稀有の活況を呈しつゝあるが一方撫順炭の最初朝鮮に入りしは大正元年にして專ら特約店三國商會の手により全朝鮮鐵道沿線は固より釜山、元山、鎭海、馬山、群山、木浦、仁川、鎭南浦等の各港に至る迄供給しつゝあり工業の振興と人口の增加に伴ひ需要益々激增し價格の低廉と炭質の優良とにより至る處の使用者に歡迎され全鮮に於る一箇年の消費額の如き內地炭五萬餘噸に對し實に卅五萬餘噸を算する盛況を呈しつゝありしが歐洲戰亂の影響は石炭界に及び其の內外に於ける需要頓みに激增し漸やく供給の不足を告げむとし各山元貯炭拂底勝となり殊に內地採炭界の如き採炭制限に次ぐに各種事業界盛況の爲め坑夫の蒐集容易ならず從つて各需要地よりは先物の契約等あると出炭間に合はず加之濠洲に於ける炭坑夫の罷業其他の事情の爲め出炭額の減少を來し內地炭價は連日沖天の勢を以て昂騰を示すに至り滿鐵鑛業課に於ける貯炭の如き殆んど皆無の有樣なるを以て採炭力を倍增して之れが供給及び價格の調節を圖りつゝありしも時恰も滿洲地方新穀の出廻期に入り輸送能力に缺陷を生じ之れが配給意の如くならざる上に南支那及び朝鮮全道より大口の需要徒らに嵩みて供給不足の觀を呈するに至り遂に撫順炭に於ても目下の需要狀況に反し出炭額の激增は到底望むべからず結局暴騰は免るべからざる氣勢に立ち至り全鮮至る處に代理店を有する朝鮮特約店三國商會主勝榮三郎氏の如き態々東京より來鮮滯在の上同商會高木支配人と共に其價格調節の爲め非常なる苦心をなしたる結果滿鐵に於ても朝鮮需要家に對しては多大の犧牲を拂ひ去る一日より一噸につき僅かに一圓餘の値上をいふに至りたるが斯ても內地炭の價格と比較すれば尙ほ二圓以上の割安に相當すと云ふ需要狀態既に上述の如くなるが故に今後の相場も引續き騰貴を來すものと觀測せらる

山路愛山著 新刊發賣

支那論

四六版三百冊頁 正價六十錢 郵稅六錢

支那の將來は如何。是れ何人も知らんと欲する所にして、何人も未だ明に語る能はざる所に非ずや。著者、夙に凱投後の支那が紛々擾々として其の形勢の極る所を見ず…其の將來の形勢を縱橫に論じ…「支那成功論」の二篇を以て…現代支那に關する…

發行所 京城府日吉町 東京橋區 民友社

賣捌所 京城日報代理部 電話六〇番 振替京城三〇〇番

商況

東京債券現物特電 十一日出來値段（前日との比較）

東拓	京城電氣	朝鮮銀行	朝鮮瓦斯	南滿鐵道
—	一八七、〇〇	—	—	—

東京公債直取引特電 十一日出來值段（前日との比較）

甲號五分	五分特別	四分內地	四分	五分
—	—	—	—	九九、八〇

深川在米特電 十一日現在高 朝鮮米 內地米 盛岡地

一、〇三二 一四、四二 七七、四一 一四〇、四二九 二二八

東京期米特電 十一日前場

	寄付	高値	安値	止め	十一月限
	一六七〇	一六六	一六七七	一六七三	

大阪三品特電 十一日後場

十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限
一八六、〇〇	一八六、五〇	一八七、九〇	一八七、四〇	一八八、四〇	一八八、〇〇
一八五、〇〇	—	一八五、五〇	一八五、一〇	一八五、六〇	一八六、九〇

大阪期米特電 十一日前場 當限 中限 先限 寄付 一五、八〇 一六、〇六 一六、六〇 止め

下關期米特電 十一日前場 軟調、押目買に支へ氣

	當限	中限	先限
寄付	一五、〇〇	一五、三五	一五、八六
止め	—	一五、三七	一五、八六

雜報

◉**金巾類先高乎**

二十五日以來資止め繼續しつゝありし紐布三丁目は協定の通り十日をもつて資止めを解除し同事に建値を發表せしが前回に比し二圓高の百八十圓止め以來形勢一變し市中の成行は頗る賣氣を示し絹布の不勢と申向の價格不出入り綿糸の不勢と共に伸びる傾向…一部に高値持ちの傾向ある…

◉**牛皮稍買進む** 牛皮は前報の如く久しく行悩中の處大阪…

◉**眼先二三圓方の引**

◉**綿布一二圓高の氣配**

◉**輸入皮革強硬**

更に百六十八圓外といふ高値

…

◉**再製鹽活況**

◉**上十五錢內外の引**

◉**日米小賣值一定**

下關相場

○朝鮮白米は小高し依然出廻り多からぬと産地高不引合を唱へ居る爲め矢張市况は…の氣配を告げ居る…

○大豆は先づ此邊乎…

○小豆は先づ保合…

糶買入

京城南米倉町 龍山精米所 電話一二四番

各地商況

○本浦（九日の穀物）…

△朝鮮一等白米 十六圓

△同（常用）十六圓二十錢

△鎮南浦小豆（常用）十二圓五十錢

△同上品 十二圓二十錢

△肥後大豆 十一圓七十錢

△深川大豆 十一圓八十錢

△同上品 十一圓九十錢

△俵糯大豆 十一圓七十錢

△元山大豆 十一圓二十錢

京城正米

人氣は眼先安見越しなるも現在拂底中の移出白原料の買進みにより引續き持合居れり

南大門の廻穀

水原白米 二七叺 烏山白米 二七叺

水原糙 八二叺 平澤玄米 四〇叺

安城糙 一九叺 一山糙 二一叺

平澤玄米 一八六叺 烏山糙 九三叺

仁川現物市場

島山白米五五叺 金谷錦米三〇叺

平北白米一六叺

▲**移入**…

釜山市場（十日）

▲…

◉**仁川米豆取引所 糶賣** 一等…

仁川期米

十一日前場

▲兵庫商店十一日十二圓五十錢の寄付…

昨止より十錢安の入

先二節五十八錢と高

小甘さ移り

節五十二錢と安移

六節五十八錢と高

移りに…

市場零聞

▲**依然鞘寄せ**

大阪の下寄を受けて昨強硬の鞘先に止まるも十二圓五十錢と小甘く寄付きたるが…

▲**然買物多く**

▲**前場の手振**

▲**巫大に賣る**

確實 仁川取引所仲買人

迅速（定期米賣買委內御申込次第送呈）電話一六五番 六三〇番

三巳仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三二二 振替口座京城四〇二

▲**今大に賣る** 前場同店より賣りたる玉數無慮一萬餘石に上りたりとの事一面中市場の注目を惹いたり

▲**巴能く賣る** 前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲**㋣大に買ふ** 前場同店より買ひたる玉數無慮一萬四千餘石に上りたりとの事一面四千餘石の賣りありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲**㋑能く買ふ** 前場同店より買ひたる玉數七千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲**㋩能く買ふ** 前場同店より買ひたる玉數五千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲**全能く買ふ** 前場同店より買ひたる玉數三千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲**㋷の商內** 前場同店より賣りたる玉數二千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲**下げ澁ふる** 昨強硬の鞘先を受けたるも一面なるも大阪に寄を受けたると前場の大阪の商人氣の傳はりたる時は存外に堅く買物入り込みたる事にて四十八錢と押分筋の大に賣りも買物多く大阪跡高を受けて押し返し四錢と放合を告げたるも五十五錢と見ゆ

仁川米豆取引所

十一日の一月限

寄付	高値	安値	止め	出來高
十二圓五十四錢	十二圓五十五錢	十二圓四十八錢	十二圓五十一錢	四萬千七百石

	一節	二節	三節	四節	五節
前場	十二圓五十一錢	十二圓五十一錢	十二圓五十三錢	十二圓五十四錢	十二圓五十四錢

賣買取組高

	前日と比較
十一月限 三二、四七	三高
十二月限 三二、五四	
一月限 三二、五五	
十月後場 三二、四四	三高

北濱だより

▲**郵船株** 今回の營業成績は無論前期に優なる良成績であるけれども株主は唱へ來つた増配運動も鎭まつて居らぬは頗るじめ重役と妥協成り少なくとも二割五歩多くて三割の配當は重役側から提案せらるゝ筈であるのみならず戰局の終了後には巨額の積立金を適當の方法で處分するといふ事も內定して居るやうであるのが鍵めであらうと云へる某消息通もあるのである、此の內に戰爭の繼續する限り船腹の缺乏といふ事は免がれぬと共に同社の業績は樂觀し能ふのであるから同株の押目は買ふて進入るのが得策であらうと想はれるのである

▲**三品新株** 三品新株は始んど一手に買取り居れる石田商店の買玉は八十圓高の安値の買持ちで百圓切以上の利乘りあるにも拘はらず利を喰はぬのは此株を手離す事が危めであるのだが仲買店の連中に制限の附してあるので酬其の值合を拔い四千株以上にとつた場合には增股を徵收する事を發表したので昨日石田商店がイカイな振つて居るのである弱氣側は資材料としていふ事を自らの株を安く買つてゐるのであるが同株の上から打算して買へぬ値でもないが一考を要するのは要するであらうか

稻荷座落成 御待兼の 愈々開場

愈々晩秋の候各位益々御隆昌奉欣賀候陳れば弊座事先般來新築工事中の處御庇を以て愈々落成來十二日より十九日迄八日間初興行として東都にて大好評大評判の

三升家紋右衞門（外數十名）

顏揃ひの大一座を招聘

◈落語芝居喜劇◈

◈所作事諸藝◈

狂言毎日差替杵屋女連出はやし相勤め可申候間御散步旁々賑々敷御來觀被下度伏して願上候

京城本町五丁目 稻荷座座主 敬白

優等清酒

京城府蓬萊町四丁目 三巴正宗發賣元

三巴酒造場 電話長一〇六七番 振替口座六一八番

大田支店 電話長一二五番

平壤支店 電話圖五一一番

● 新築落成移轉御披露

金氣淸澄の候各位倍々御多祥慶賀の至りに奉存候降而弊店事是迄黃鳥谷に於て營業致來り候處今回新築落成仕候に就ては左記の箇所に移轉し更に營業の方針を改善し專ら料理鹽梅に丹念の上待遇向其他にも十分に注意を加へ諸事御滿足を得る樣精々勉强可仕候間倍舊の御引立を給はり度移轉御披露を兼ね右御願申上候 敬白

京城本町一丁目（辻屋裏）

㐂齋流 [illegible]

圖電話一七六番

眼科內科 小見科 京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）

本田醫院

入院隨意 院長 本田建義

大田 東蠶社

𧆛桑（魯桑、市平、高助 其他各種、魯桑館 生（純粹保險）接 木用實生及穗木 純良 請合 豫約 貴需）

長電話百〇七番

廣告

來る十一月十二日より向一ケ月間左記の場所に於て肛門病（痔疾）一般の診療に從事す

病名 痔核。痔瘻。脫肛。與腸脫。出血痔。裂創。痔。痙攣痔。ぼりーぷ。ゑんぼりー。肛門膿瘍。肛門梅毒。肛門狹窄等

診察時間 午前九時より午後五時まで 隨時入院之需に應す

京城南大門驛構內二見旅館內

肛門病專門 院長 久枝秀喜

『患者參考』 最新式痔疾根治注射療法書申込により進呈す

○○醫師にして最新式痔疾根治注射療法講習希望者之需に應す

報知れ

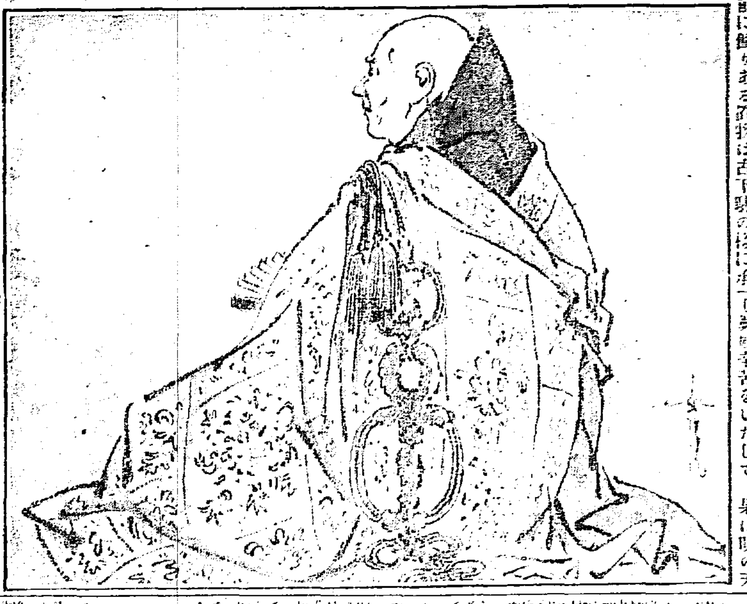
測候所發表 前日 最高溫度 四十五度二分 最低溫度 三十七度四分 三十九度 三度九分

中央標準 日出 日入 二月十日 九月十一日 三月十八日 九月二十日 三月廿三日 九月廿八日

宮本武藏

第二百十三席 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

雲居禪師は拂子を持つて其處へ立出で政宗侯の前へ着座して 雲『是は〳〵今日は能うこその御參詣、此度當瑞巖寺開基の爲め此の雲居を御招き下され有難く存じます』 政『是れは雲居禪師には初めて面會します、大膳太夫政宗にござるが、今回は遠路の處當松島へ御出下され瑞巖寺開基のこと厚く禮を述べます』 雲『恐入つたる其の御言葉、御休息が濟みますれば只今御茶を參らせます』 政『それは忝い、然し御坊に御尋ね申すが、彼の床の前に飾りある寶物は古下駄の樣にも承知いたすが、沓新しと雖も冠にならず、如何なればかゝる見苦しき物を置物になされしか』 雲『能うこそ御尋ね下された、若しお尋なくば愚僧より申し上げんと思ひ居りました、お言葉の如く杉臺に欄齒をすげ鮑棒鼻緒を立てました古下駄でございます』 政『フン異な物を好んだものであるな』 雲『拙僧の面體を御覧下さる樣』と面を上げたのを政宗侯能く見ると眉間の疵の痕があるから 政『侍の向ふ疵と異り出家の向ふ疵は見苦しきもの、御坊の其の疵は何とした』 雲『是こそ君の賜物でござる、又此の下駄は君の召したる物でありまする』 政『何といふ雲居、貴僧の面體の疵は政宗の賜物、又此の下駄は予が穿物とは如何に』 雲『君御忘れありしか、未だ君が御弱年の昔奥州梁川に御在せし頃、一と歳御物見にて雪見の御酒宴、其時愚僧は常陸國眞壁郡眞壁村より出でし眞壁平四郎と申す草履取、君御歸りの時彼の下駄を懷中に入て溫め參らせたる處、屁を掛けたる不埒者とて彼の下駄を持つて愚僧の面體を打破り、其儘御引取に相成ましたが、誓くして我が身に復つた愚僧は、君を刺し通して其場に死んと思ひしが、斯くてはならずと其場を立退き一度故郷に立戻り、釋迦の徒弟と相成つて身に墨染の衣を被て諸國を經巡り、或時は野に臥し又は山に臥し難行苦行をいたして、果は明の天臺山まで登り修行仕り雲居となつて歸朝いたし、此の上は政宗を怨んと思ひしが深く考んれば我宿の業障と知識、怨を捨て君の御武運を念じ居りましたる處、主從盡せぬ緣か今回瑞巖寺へお招きに相成りまして、茲に再會仕りまするは愚僧が身にとり此の上もなき喜びでございます』 政『偖は貴僧は眞壁平四郎であつたるか、如何に若氣の過りとは云ひながら善惡を糺さずして庭下駄を持つて貴僧の面部を打破りしとは面目なき次第、何を以て申し譯といたさんや』と小刀を拔き掛つたが己れの髻をブッキリ切て雲居の前に差出し 政『如何に禪師、今日より政宗は頭を剃り消滅の爲め出家となり御身の徒弟といたしくれる樣、生涯佛門に入つて貴僧に仕へたく存ずる』と並で政宗侯出家いたし雲居禪師より貞山といふ名を申し受けました、されば此の下駄は瑞巖寺の什物となつて居りまする、昔し百疋といふ金を納めると役僧が此染の下駄の由來を云つて此の雲居の話しをいたしてくれまする、雲居禪師は萬治二年八月八日寂す年七十七、敕して圓滿國師と申しまする、實に政宗侯は大智の人で天下を一統しやうとした位の方である、其の理由は慶長十八年九月の十五日支倉六右衛門常長と云ふ者に申し付け、奥州牡鹿郡月浦を出帆させ呂宋に遣はし太平洋を橫斷して北米墨西哥に上陸し翌十九年五月西班牙に赴き其の地に止ること半年、翌元和元年八月伊太利羅馬に赴き法王に對面し、教法を聽き羅馬に止ること五箇年、元和六年に至つて月浦へ歸つて參りました、然て見ると此の時分から日本全國のみならず世界を一統しやうとした大いなる目的を抱いて居たものでございます、是は政宗侯及び雲居禪師のお話しであるが變つて此方は嘩振内に滯在して居りましたが、松井の水野日向守二天の宮本武藏佛尊を見物いたし瑞巖寺に參り、雲居禪師の依賴に依て二天が名譜を認めるといふ一席次號に申し上げます



婦人科 產科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話二二〇一番

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町一丁目商品陳列館通坂ノ上 電話二一〇二番

十一月十三日 九星 舊十月十八日 甲寅 本命 一白 北 平 先負

▲一白● 喧嘩口論を生じ易き日 [illegible]

日本專賣有權 のん病七日藥
麻除 痳除は左記重症を專門治療す ●慢性痳病 ●急性痳病 ●女子消渴 ●膀胱加答兒 ●睪丸炎 ●尿道狹搾
藥學の發達は日に進步し月に向上す痳除は現代に於ける最も優秀なる強度の藥で絶對胃腸を害せず化學的作用により迅速黴菌を殺し迅速痳毒を滅す頑固症數年治らず時々再發百藥無効で困る人必ず一回試よ最新製藥迅速送る新聞名記入端書で申込あれ詳細通知す
大阪南區堺筋周防町南入 山口商會

演藝案內

稻荷座 京城本町五丁目 ▲十一日より新築初興行 ▲京阪落語別派三升家會 ◎大切所作事座員總出 ◎劇本寄 ◎本衣裳應用 ◎落語芝居 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 ▲十一月八日より提供の新番組 [illegible]

黃金館 電話一八五二 二六三七 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 ▲十一月九日より特別大興行 [illegible]

壽館 京城壽町 電話一〇五〇 ▲十一月十日 [illegible]

御成座 御成町 電話二一九一 ▲第二十回藝題 一、男子の赤心(全七場) 二、喜劇 親心(全二場) [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 ▲九日より江戶落語三遊社幹事 朝寢坊むらく改め 橘家本川柳一座來る [illegible]

MITSUWA QUINA IRON WINE.

is made after a through scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: is very delicious, fragrant and perfectly absorptive and a similative.

As a tonic, for persons of weak constitution or in deseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

人蔘を科學的に研究して之を錠劑とせる
◎ミツワ人參錠
製劑責任者 藥學士 河西[illegible]

主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は鎮靜、催眠、利尿、健胃、強壯等の諸作用を具ふるものにして、其醫治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰痿等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、其他の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の若き不良を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして強壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等比類なき卓効を奏す。

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓

如斯人は◎ミツワ人參錠を服用すべし

一、頭痛や耳鳴に惱む人
一、頭が重く腦が惱となる人
一、眼が疲易く長く見て居られぬ人
一、道上で花子なり又眩暈して倒れる人
一、眠らうとしても興奮して眠られぬ人
一、床に就いて居ても眠くてたまらぬ人
一、眠れて居い夢を見たりする人
一、神經が過敏となつて些細の事まで氣にかける人、何事にも怒り易い人
一、悲しき事もないのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になり精神鬱々とする人
一、記憶の不良い人、時々氣を失ふ人
一、雜念頻りに起つて集注の出來ぬ人
一、思考力や判斷力の衰へて居る人
一、惡心、嘔吐、食慾減退、消化不良及び胃部膨滿に苦む人
一、呼吸切れ動悸亢ぶり及び痙攣に惱む人
一、陰萎で惡悶する人、遺精で困る人
一、腰や膝や手足が冷えて困る人
一、神經衰弱やヒステリーに罹つて居る人
一、心臟病や腎臟炎に惱んで居る人
一、貧血して居る人、營養不足の人
一、產前產後及び病後の衰弱を防ぎたい人
一、老衰を防ぎたい人、延命長壽を願ふ人
一、勉強又は勞働して疲れ易い人
一、精神及び筋骨の疲勞を早く治したい人
一、精力を強くし元氣良く働きたい人

肺病 肋膜炎 氣管支
に輕症は三服重症五服にて効能ある良藥を郵券貳錢相添照會あれ治療法豫防法を供に詳報す
名古屋市西區本町三丁目 鈴木盛角堂

懸賞尋人

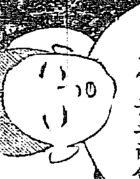
本年廿五 藝名 戸崎 ○○か ○○たら

懸賞金參拾圓
原籍岡山縣加茂郡稻枠村字笠作二十番地 戸崎滿太郎長女
前釜山牧の島常盤楼から
現在龍山彌生町入船楼方
右の者行衞不明にして付ては居所通知又は連れ來る者には賞金として前記金額贈呈す
以前慶北道安東にも居住せし事あり
龍山彌生町(電話五二三番) 入船楼事 戸田長次

男女用子宮用サック
最上ゴム製 極薄上等 十個四十錢 廿個一圓 特製十二個六十錢 珍形十一個五十錢 送料二錢 代引十錢增
東京芝區愛宕町二 丁子堂 振替東京一八一五八

長壽靈品は ヨーグルト
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一一〇四番
荒井の牛乳 滋養と健康の母也

ノイ
七歲より下の コドモかぜ＝ねつ 特效藥
主效 かぜ、ねつ 痲疹、肺炎 流行性感冒 マラリヤ熱 百日咳、其他熱一切
山口 稻田 垣內 醫學士 醫學士 藥學士 方證監修 劑明
本舖 大阪東京 丹平商會
價十錢 二十錢 三十錢 各藥店にあり



「ニほまれ味噌」
製造元 日本醬油株式會社京城出張所 電話二四六五番

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料はホーカー液
本品は畏くも宮内省御買上の光榮を有し衛生博にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり

最高滋養
フェロール
本劑は鐵と燐酸と佳快美味なる數種の高貴營養劑とより成り在來の「フエラトーゼ」代用として益々好評
味は葡萄酒以上にして豈の酒精分なく老幼男女の別無く一家の健康を保障し病者には最新の營養料たり
△適應症▽ 貧血、虛弱、精力減退 老衰、產後、神經衰弱 病後、肺病、消化不良 凡て營養分必要の諸症
●各藥店ニアリ若シ無キ地方ハ本舖へ送金し注文あれ小包便送附す
定價 大瓶廿日分 壹圓七拾錢 中瓶十日分 壹圓也 試用二日分 貳拾錢也
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛 振替口座大阪九一九番

腦病良藥 レーベン
本レーベンは植物性の藥物にして[illegible]有効證明を有する良劑にして常に醫學士の創製に係る絶好[illegible]腦神經病良藥なり故に腦神經衰弱、頭痛、眩暈、逆上、ヒステリー其他凡ての腦神經系病に對する絶好の治療藥にして『リンサン』の多量に加味せられたる新式の錠劑なり 論より證據先づ百錠乃至二百錠を試よ 藥價三十錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢の六種あり、信用ある藥店に取次ます、本病の療法書と本劑の說明書は申込次第進上す
發行所東京市銀座弓町電話長京橋三〇八番 ●支店大阪東區安土町堺筋電話長本局三〇〇七番

京城 南大門 南行 [illegible] 北行 [illegible]

京城日報　第三版

當付	一五、一〇	一五、二八	一五、八九
高値	―	一五、四一	一六、〇〇
安値	―	一五、二八	一五、八九
止め	―	一五、四一	一五、九九

後場當限寄付十五圓八十八錢 中限寄付十六圓七十三錢 先限寄付十六圓[illegible] 十一日[illegible]當限十五圓[illegible] 出來高二千百石 [illegible]五百石

[illegible]節 十二圓六十六錢 四節 十二圓六十二錢 出來高 三萬三千二百石 一月限 九千六百五十石

十二日夕刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社 [illegible]

●横腹を蹴つて 平南鎭南浦府邑内居住[illegible]俊(二九)は十月二十四日[illegible]つけたる上横腹を蹴りたり一月一日遂に死亡したり死因判明せざるを以て目下屍體解剖に附し取調中なりと

十二日午前[illegible]大和町[illegible]方店員森山貞二郎(二二)を[illegible]方の商品製圖器械其の他を竊取せし事情を知り乍ら之れを他に入質し[illegible]

●溺死 平南大同郡古[illegible]端里金利煥(三〇)は去る七月弟金利用と陸路里の江岸大同江に大根船を繋ぎ置き市中で强か燒酎を呷りて船に[illegible]

鬱巢居閑話
蘇峯先生談　中島生記

（六）政黨内閣是非

余は、政黨内閣が、我帝國の憲法と兩立せぬなどゝ云ふ、野暮な考は持たぬ。帝國憲法は、政黨内閣もなければ、非政黨内閣もない。若し日本に完全なる政黨が出來、其政黨員中に適材があつたならば、其首領に内閣組織の大命も降るであらうし、而して其結果は政黨内閣と謂ひ得べきであらう。然かし、問題は我が憲法に抵觸するやせぬではなくして、時務に適應するや否やと云ふ事である。政黨内閣の本家本元は英國であるが、其の英國でも、初めから政黨内閣を造る爲めに、政黨が出來たのではなくして、政黨が出來たから、自然政黨内閣となつたのである。

政黨内閣にも隨分便利な事はある。第一は、其の政黨員より内閣員を推薦するから、組織の手數が要らぬ事である。第二は、甲黨倒るれば、乙黨代るが故に、政策に變化があつて、人心を倦ましめぬ効能がある。第三は、彼我兩黨交代するが爲めに、内閣更迭も手輕く、一方に於て餘り政權に執着せず、他方に於て陰謀秘計を以て、政府を倒すなどの手數も掛らず、更迭が輕便に行はるゝこと等の利益がある。然かし、政黨内閣の存立は二大政黨の對立によりて、始めて行はれ得べきであつて、さもなければ、其名ありて其實なきものである。又假令二大政黨が存立して居ても、果して政黨内閣が理想的であるや否やと云ふ事は疑問である。政黨内閣では、政策の變更を意味するが、國家としては、内政は兎も角、對外政策は、當今の時勢に於ては、變更を許されぬのである。乃で、對外關係の極て稀薄にして、外交なるものは、僅かに政治の一小部分である古に於ては、いざ知らず。今日の如く、國家一切の政策、悉く皆對外關係より割り出さなければならぬ場合に於ては、第一、政策の繼續と云ふ事、第二、擧國一致して之に當ると云ふ事の要件がある。而して此の二大要件は、政黨内閣とは兩立し能はぬのである。此の意味に於て、政黨内閣は、全く今日の時勢に適應せぬ時候遅れの内閣である。論より證據、

其の本家本元たる英國でさへも、今日は政黨内閣を中止して居るではないか。自由黨統一黨の兩黨領袖等が政黨の繩張を脱して、倶に内閣に立つて見れば、其の政見は、自黨の政友よりも、却て他黨の政敵と、より接近して居ることを發見し、互に瞠然たることも、鮮なくなかつたであつた。例せば、自由黨の旗頭ロイドジョーヂが、統一派の旗頭チェンバレーンと、徴兵問題に就いて、互に同一の態度を執つたが如きは、其適證の一であらう。

右の次第であるから、政黨内閣は、英國でも頗る識者の疑惧するところとなり、何とか平和克復後も、舊式の政治を廢めて、時務に適應する政治を、施こしたきものであると云ふ議論も、今日に於て少からぬのである。

然るに我國に於ては、他人の眼が捨てんとする、破れ靴を拾うて、之を足に履くのみか、或は冠にでも戴かんとするが如き狀態あるは、何故であらう。之れが誤ちで、英國中毒病ではあるまいか。但し、政黨内閣として、一つの見遁し難き便宜は、議會に於て、豫算案其他の法律案が、比較的樂に通過する事である。然かし、餘り樂に通過する結果は、殆ど立法部は盲判を捺すと云ふ事になる。又、斯く樂に通過すると云ふ事も、衆議院に於て、兩作ら多數を制して居る場合に限るもので、若し衆議院のみにての多數ならば、貴族院で喰ひ止めらるゝから、我國の如き、其の權能上兩院伯仲等の輕重なき議會に於ては、之れ亦考へ物である。乃で、我等は如何に考へても、政黨内閣を以て、現時に於ける理想的の、若くば理想的に近き内閣と、信ずることは出來ぬ。

放浪漫記
十一月一日漢口に於て　大谷光瑞

十月十九日上海を發し、津浦鐵道により北京に直行致し候。幸ひ三菱物産上海支店長藤村男爵の北行せらるゝと同車するを得、無聊に苦しむ事を免れ、三十六時間最も愉快に經過致し候、沿道は昨年通過せし時と大差なかりしが如し、本年も淮北は例の如く水害にて窮民多しとの事なれども、夜間に通過せし爲め慘狀目撃せず、朝八時頃濟南府を通過し、夕七時半北京に到着致し候。北京は明治四十年春期に遊びしを最後とし、約九箇年來らざりし爲め全然面目を改め又昔日の追想を喚起する物に乏しく、この九年間は北京に於ても最も變化に富みし時期にして、四十年は猶慈禧皇太后も光緒帝も在位中にして、小生も謁見せし事あり、爾來皇太后上賓、上兩ながら晏駕し、宣統帝又退位し、袁世凱の大總統となり、進で帝制を唱へ、次で黔滇先叛き、遂に身殂し事凝み、黎元洪の副總統より大總統となり、今日に至るまで、又黄粱炊裡の一夢の如し、唯旅人の最も喜ぶ可きは道路の改良せられ、撒水の行はれ、惡道臭塵の少なるにあり、大街は已に清潔にして、狹巷亦昔日の比にあらず、小生十日の滯在、望む所は燈籠にあり、西山の勝字遊蹤を騁せんとするも、親友の多くは之れを許さず、日夕の招宴に久闊を叙し、海山萬里を語り興盡きざるに日已に盡く、全く遊覽を試むる能はず、親友諸君の厚誼に滿腔の感謝を表すると共に、山水古蹟を探る能はざりしは遺憾に堪へず、漸く少閑を偸み、雍和宮と黄寺と萬壽山に自動車を馳せ、探勝の懐を舒べ申候。雍和宮は往年は外人の入るを許さざりしが今は票を售り自由に觀覽を許し、又一の搜索する所なし、黄寺は敗殘見るに堪へず、然れども乾隆年間に作る所の白大理石の喇嘛塔は巋然猶存せり、是清朝に於る模範石刻の一として頗る見るに足る素より魏唐に及ばざる事遠しと雖も乾隆當時如此き名工の猶存せしは近世美術として誇に足る、行人の惡戲にや下部の人像は皆面部を毀損せり、蓋し團匪事變の時外國人の行ふ所なりと云へり、無知の兵士か、浮浪の徒か、實に惡む可き行爲なり、然れども上部は手の達せざる爲毫も損せず美觀を殘せり、面部は隋唐の型を殘せり、北京來遊の人士は一見の價値あり、記して後遊の士に貢す、萬壽山は林泉の勝は人皆是れを知る、小生は往年一遊せり、園存すと雖も人既に空し、今回は林泉の爲に非ず、元の賢相耶律楚材の墓を訪はんが爲めなり、小生の友人小林[illegible]三郎氏、其墳墓のあるを知るも發電所の構内に在るを以て至る可からず[illegible]構内に入り小生は[illegible]是れを訪へり、墓は正しく發電所の後方にして、往時[illegible]の西太后に上りし電燈機を猶存せり、是れを過ぎ後苑に出づれば、楢柏十餘乾隆御製の碑を繞れり、碑は[illegible]の上に立ち御製御書なり、文に曰く

題耶律楚材之墓

墓在甕山泊園之東昔年營園之時其適近園門故培土爲山其上以藏之閲其爲楚材之墓久矣使閲時而湮滅無傳豈所以褒貴勳忠之道哉因命所司仍其封域之制并爲之建祠三間使有質餞申酹之地并命廷臣孰爲碑記題之詩如左

耀質潛靈總幻觀所嘉忠亦一心殫無物非改卜堂墓本沒爲重完擒文表德輝員幸免稱冢漢有墓道同封比干龍李郎仍石臣卸千秋定不刊

乾隆庚午夏四月上澣御筆

再選せしウヰルソン大統領

朝鮮の古城郭（三）
八木奘三郎

（四）歷代城郭の變遷（承前）

（丙）伽羅時代の城郭（續）　以上記する如く、伽羅時代の城郭は其位置に平地と山上との二樣あれども、共に土城に限つて未だ石築の風を生せず且つ概して小規模なりしことを知るに足れり。

又伽羅の地は我倭土的の關係ありし爲め邦人の玆に渡りて城郭を築きしものあり。是等は世人の氣附かざる所なれば左に其記事を揭げて參考に供す可し。日本書紀、卷十五、顯宗天皇三年の條に曰く。

是歳、紀の生磐の宿禰、任那に跨據して、高麗に交通し、將に西の方三韓に王たらんとす、宮府を整脩し、自ら神聖と稱す、任那の左魯那奇他甲背等の計を用ひて、百濟の適莫爾解を爾林に殺し、帶山城を築きて、東道を距ぎ守る云々。

とあるは日本の韓地に戰ふて其敵國に入りて固守し、又は根據を定むる場合は任那の地域にて急造の必要なかりし爲めか、彼の純然たる城郭を構へたる如くならず、一の山城を築き帶山城の名あるを見れば、其構造等は多少日本趣味を交へしや否やは明らかならざるなり。勿論當時の城郭は日韓共に大差なかる可しと雖も、何れにせよ邦人築造の分が其間に交れることは疑なく心得置かざる可からず、猶後世に於ても文祿役には日本風の城郭を各地に築きし例往々に之れ有り。

予は以上に於て漢の樂浪時代より、羅、濟、麗三國の末に至るまで、數百年間の城郭を記し終れるにより、更に新羅統一後より、高麗、李朝の分に涉りて起草せんと欲せしも、顧みれば其回數已に三十餘回に及び、文章長篇に失して徒らに讀者の厭倦を來す恐れあるを知れるにより、玆に後篇分を截斷して左に結論一篇を附し以て、本篇を完了することゝなせり。

大阪より

昨今のセメント界は歐亂の好影響を受け往時の不振を全然一掃し國内需要品にして南洋、印度方面に輸出さるゝもの激增したるが當業者の最も苦心する處は戰後の處置方針なり現時歐亂各國は戰中終結と共に再び南洋印度方面に活躍し現時日本當業者の占有せる地盤を覆さんとの擧に出づるなきを保せず去れば本邦當業者は往時の不振を餘儀なくせしめらるゝに至るやも知れずとてをさ／＼此が對策に怠りなきが如し戰前世界の産額は米國の五千萬樽獨逸の三千萬樽英國の二千萬樽白耳義の一千萬樽等を主なるものとし總産額は一億二三千萬樽に達し居たるが戰亂の爲め白耳義の産額は皆無同樣となり獨英、兩國とも戰前の如き生産能力を揮し得ず現狀にては何を云ふにも米國生産額が世界の大勢を動かし居れり此の際我日本の生産額を見るに僅か四百萬樽内外に過ぎず其内輸出額は例年の五六萬樽ありしが本年度は七十萬樽までこぎつけしが何時まで此の現况を持續さるべきや英佛兩國聯合軍が現在戰線を今一歩進め獨佛國境たるライン川沿岸ハメバ州を占據せば獨逸セメント會社のトラスト區域を破碎するに至らば戰後之が復舊を見るまでは尠くも三四年間の年月を費さゞるべからず一般當業者中には鶴首して之が破壞を希望し居るもの多しされどこは測り難き一の希望に過ぎざれば事業家は宜しく戰後の方針を確定するの要あるべし（大阪支局記者）

日報歌壇

◎ 京城　白葵磬

踏切の線路のはたにコスモスのあまた咲き居て夕闇に浮く

ふと心世の雜音をあやしみつ事なき生のつゞく日の夕

過ぎし秋あかるかりけり校庭の花をめでにき歌をめでにき

菜畑の畔になみたつ白楊の若木黄ばめり夕日の中に

雞頭のゆらりさ立てる靜けさや雀下り來てもの拾ふ朝

おごそかに沈みゆく日の前に立ち銀杏の老木黄金の袖振る

◎ 京城　梨雨泉

一めんに櫻落葉の散りけるか黒き土に秋日吸ばるゝ（植物苑にて）

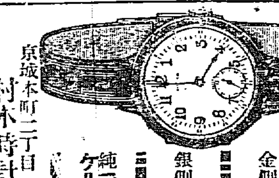
◎ 京城　樹崎あづま

音もなく止りて又も音もなく飛び去り行きし赤蜻蛉かな

コスモスが雨にゆらげり本願寺の行路病者の行く樣に似て

購買入札
白米三百石
右購買ス詳細ハ大正五年十一月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十一月十二日
京城監獄
朝鮮總督府

最新式腕卷時計
アンクル試 新荷着



金側 自金廿四圓 至金壹百廿圓
銀側 自八圓 至廿五圓
純ニッケル側 自七圓 至十五圓
京城本町二丁目 村木時計舖 京城支店
振替京城四七一 電話三二九
其他眼鏡貴金屬品は當工場に於て製造致候間多少不拘御用命願上候
地方御注文は代金引替小包便にて御送納申上候

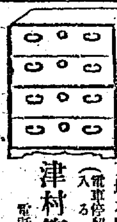
外交員及女事務員
至急採用す希望者は履歷書携帶午前中本人來談あれ
京城初音町十六番地
報知新聞京城支局

新刊圖書案内

書名	著者	定價
朝鮮現行官制官規	松堂	七〇
同 民刑法典	同	一、五〇
同 警察衛生法規	同	五〇
朝鮮地方行政法規	同	四〇
同 租稅及會計法規	同	一、二〇
同 土地林野法規	同	五〇
同 水產法規	同	一、〇〇
同 教育法規	同	五〇
同 交通運輸法規	同	一、〇〇
同 現行諸法典	同	八〇
債權總論講義案	鳩山秀夫	七五
物權法提要 自一卷至三	[illegible]	七五
經濟原論 上卷	山崎覺次郎	一、〇〇
債權各論 前編	[illegible]一郎	六〇
大正の青年と帝國の前途	德富猪一郎	八〇
弱者の爲に	杉村楚人冠	一、三〇
龍文講話	山本[illegible]	一、八〇

大正六年度日誌いろ／＼　澤山著荷仕候
大阪屋號書店 京城支店 仁川店
京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五四番

專門 化學應用 印半天 洋服丸染
京城魚市場降（電話二八五七番）
若宮染工場
山田俊夫
右本月四日解雇致候間爾後當店と何等關係無之候間此段廣告候也



簞笥、鏡臺、家具、製作販賣
（御注文により御好調製可仕候）
京城本町四丁目（電車停留所右へ入ろ半丁）
津村簞笥店　電話二六七〇番

早稻田大學講義錄
全部刷新課目增設
政治經濟科講義
法律科講義
總長 大隈侯　名譽學長 高田博士
指導卅餘年最新最良の獨學機關
立身の第一歩として吾五大講義錄を薦む
速に入學せよ
主なる特典
本大學無試驗入學
上級編入及入學金免除
大學圖書の無料閲覽
夏期講習會無料聽講
卒業及修業證授與
發行圖書の割引購求
成績優秀者に給費す
ハガキにて申込次第
見本つき規則書
直に無料進呈す
入學金全免
文學科講義
早稻田中學講義
早稻田商業講義（新學期開始 臨時入學でもよし）
申込所 東京牛込早稻田 早稻田大學出版部 電話番町 三七〇四 二四三二

日韓書房
新版報告
山路愛山著 德川家康 定價二圓卅錢 送料十八錢
中原鄧州著 機略縱橫 定價九十錢 送料十錢
小林一郎著 日蓮主義講話 定價一圓三十錢 送料十二錢
栗原古城譯 西洋品性論 定價一圓 送料十錢
澁澤榮一述 論語と算盤 定價一圓 送料十錢
京城本町二丁目 電話一四五・振替口座一一一五番

新學期開講
中學講義錄
小學卒業生が自宅に在りて家業の傍ら少額の學費を以て完全に中學全科を學習し得る理想的中學講義錄學監遠藤山内兩博士の考案に基ける最新式通信教授法に依り學年を短縮し一層短時日の間に修了せしむ卒業生は都下三大學無試驗入學の特典有り優等者は學費上として高等學校に入れ又海外に留學せしむ
● 文部大臣より獎勵を受くること二回陸軍大臣遞信大臣より推獎を受くること二回以て本會の眞價を知る可し
● 此際入會者に限り獎學資金贈呈其他各種の大特典を提供す
● 講義錄見本付會則無代進呈
此好機を逸せず速かに入會せよ
大日本國民中學會
東京神田駿河臺 電話本局三〇〇二・三〇〇〇

○實業銀行設立許可

二百萬元の資本を以て本店を北京に支店を奉天吉林黒龍三省に設置し以て滿蒙開發に資せんとする憂國實業銀行設立の件は此の程官憲の許可を得たり（奉天特電）

○支那借款と四國團

支那大借款は來月倫敦に於て四國團會議に附せらるべし（東京電報）

○張督軍の自己擁護

張督軍は此の際自己の親日主義なる事を説明し併せて地位の安全を圖らん爲め是非林公使に會見せんとし其の斡旋方を領事館に運動中なり（奉天特電）

○龍濟光軍の警戒

廣東來電＝龍濟光將軍の軍隊は攻撃を受ん事を恐れて警戒怠りなしされど在廣東の軍隊には別に左る氣勢なきものゝ如し（上海特電）

○金世和奉天省長説

奉天省政務廳長金世和氏奉天省長たるべしとの説あり（奉天特電）

○壯烈なる肉彈戰

ソンムに於ける佛軍の大成功

フシユレー將軍麾下の軍隊は堅固なる編成を整へ七日の戰闘に於てソンムの南方にて獲取せし陣地を確實に保持せり獨逸軍は獲取されし諸陣地を回復せんとして猛烈なる砲撃を加へつゝあるも逆襲し來らず佛軍は行進して成功を收めたり此の佛軍の成功はソンム會戰に於ける最も壯烈なる成功中に數ふべきものにして當時豪雨滿の如く到り泥濘湖と化せる中を勇を鼓して行進し敵軍との間に激烈なる會戰を見るに至れり其の際雨軍は泥濘と降雨の爲め銃火を交ふるを得ざりしより互に銃劍と擲彈とを以て相搏ちアランクール及びプレソアルの民家を敵味方の間に數回奪取奪還したるが其の間敵の一箇中隊は降伏するを肯ぜざりしより悉く之を撃討したり佛軍は此の日の進撃に依つてマルシユルポーを距る二基及シヤルヌ、ブロン並に鐵道線路を距る二基未滿の地點に迄戰線を進むるを得たり即ち佛軍は此の勝利に依つて大に陣地を擴張したるを以てシヤルヌに向つて正面攻撃を加へ且つ北方及び東方より重大なる側面運動を試むる事を得るに至れり（巴里電報）

○佛國飛行機活躍

佛國飛行機は九日七十七回に亙る會戰に於て十隻の獨軍飛行機を墜落せしめたり（桑港電報）

○參衆兩院休會

參衆兩院は蔡鍔逝去の報に接し弔意を表する爲め九日休會せり（北京特電）

○上旬對外貿易

大藏省の調査に係る十一月上旬の外國貿易は輸出は米及び燐寸に於て聊か増加せるも絹絲及び羽二重に於て多大の減少を示せる爲め前旬に比し三割二分を減少し輸入は鋼鐵及び軌條に於て増加せるも棉花羊毛の減少せる爲め同じく二割七分を減少し輸出入差引千四百九萬三千圓の輸出超過を示せり（東京特電）

○李堈公下關着

李堈公殿下には十一日午前九時三十八分下關着同夜の連絡船にて歸鮮の豫定なり（門司特電）

○東拓前重役出發

前東拓重役吉原、林、井上、村田の四氏は十一日午後八時三十分釜山發高麗丸にて出發せり（釜山特電）

○利權外逸防止

滿蒙支那官民の對抗計畫

滿蒙に於ける日本の經濟的施設は日支兩國の共存を主義として滿蒙産業の開發を圖るに在ること今日迄の例に徴して極めて歴然たるにも拘らず支那官民の中には今尚ほ之れに對して種々の誤見を懷くもの尠からず其の誤見の結果として利權外逸を止めんと企て一轉して政治的並に經濟的排日行動に出でんとするの不穩なる形勢を醸致せること旣に屢々是ありしが排日運動の中心地たる吉林に於ける官憲重要なる交渉に關する反對氣勢起れると共に軍務當局排日議團其他軍界にける有力者の保全の下に此夫

▼滿蒙拓殖會社 創設の計畫あることは吾等の注意を要すべし此の會社は資本金六百萬圓の株式組織とし株金の一半は公衆より募集し本社を奉天に置き各樞要地に支社又は分社を置かんと云ふにありて今日の處單に計畫に過ぎず果して成立するや否や疑はしきも斯る計畫の起りしは日本が滿洲銀行を創設し若くば東洋拓殖會社を滿蒙に進展せしめて拓地移民の事業に當るべしと云ふに對し其の經濟的對抗策として企てられたるものなるは言ふ迄もなく彼の利權外逸防止の目的に出でたることも亦疑ふべからず日支新條約に依りて日本人の當然獲得せる

▼土地商租權 の如きも利權外逸防止といふ一種の反日的敵愾心の爲支那官憲の間に今猶ほ其の細則すら規定し居らざる始末にて個々人民中その所有地を日本人に賣却せんとする者あれば支那官憲は百方手を盡して之を防止し且之を國土喪失者として國法に照らし所斷せんと擬する爲め人民中進んで土地を日本人に賣却する者なく又その相談にも應ぜず或は土地家屋等の不動産を擔保として日本人より資金の融通を求むる者あれば之を防ぐ爲め彼等のために特に金融の便を圖るなど有ゆる手段を盡して日本人に土地を所有せしめざらんと努めつゝあり張省長援の下に官僚局なる半官的金融機關を奉天に設置せんとの計畫なるが是は取も直さず民要地が抵當流れとなりて日本人の手に移らんことを防止するの目的に出でざるものに外ならず蓋に長春に於て豆油豆粕の製造に失敗し百五十餘萬圓の大損失をなしたる吉林の富豪某が日本人某に所有地二千晌を擔保として資金の融通を仰ぎ償還期限到るも債却し能はざるや土地が抵當流れとなりて日人の手に歸するは由々しき大事なりとて某々等連名の下に傳の所有地全部を官銀號に抵當として官帖を借入れんことを省議會に請願したる事件もあり支那官民が如何に日本人の既得權たる土地商租を嫌ひて努めつゝあるかも以て想察するに足るものあり啻に是のみならず

▼東三省鑛産調査 と稱して北京政府が農商務鑛務局の傭技師白耳義人を中心に數名の技師を最近滿蒙に派遣し各處の鑛産調査に從事せしめ居るが如きも亦た利權外逸防止の前提と認むるを得べく現に鑛産は東三省の一大利原なれば之を擧げて官營又は民營に歸し以て日本人の手に移るを防止せざる可らずとて奉省の官民有力者相謀りて鑛業會社を起さんとするの計畫も廻らされつゝあり斯くの如くにして滿蒙に於ける日本の經濟的施設に對する支那官民の對抗策は利權外逸防止の名の下に漸く盛ならんとするの傾向あるは深く注意せざる可らず（大連）

○登錄稅六萬圓

十月中に於ける鑛業權の登錄高は申請二百九十二件其の內不受理百八件受理百八十四件にして其の稅額一萬二百四十五圓を示し前月に比し一割強の增加を見たり而して本年四月以降九月末に至る半年間の登錄高は申請一千二百九十五件の內受理八百五十二件に對する登錄稅額五萬一千六百二十三圓餘に達し之に十月分を加ふれば實に六萬一千八百六十八圓を算せり

○米豆檢査成績

慶尚南道米穀物改良組合に於ける十月中米豆檢査成績は總數十萬八千八百八十四叺にして前月に比すれば二倍以上に昇り米は一割六步強の增加なるも大豆に於て斯く增加を示したるものとす而して今之れを前年度の同月に比較すれば總計に於ては七千〇五十二叺の增加にして米は四千百五十九叺の增大豆は二千八百九十三叺の增なりと斯く米及び大豆共に檢査數の增加を示したるは前年度に於ては居昌の檢査所なきと猶一面には古米の少なきより新米の出急ぎを爲したるものにして即ち米價が昇進の姿を示したるにより又大豆は大體に於て夏大豆の水害により減じたるも之れ亦價格の昇進により秋大豆の早生物の出廻を多からしめたるものに外ならぬ檢査の成績を前年度に比較すれば

米	特等 日本種	特等 在來種	上格 日本種	上格 在來種
大正五年十月	六	なし	九,〇四〇	六,三三
大正四年十月	二,六〇九	一,三三三	三,〇三七	八,三二六

米	下格 日本種	下格 在來種	格外 日本種	格外 在來種
大正五年十月	三,四三二	六,七九九	三,一三	三,〇三七
大正四年十月	二,三三五	三,五三六	なし	なし

斯く表記に於て示すときは一見其成績不良の感なき能はざるも要するに漸次改良の進歩と共に檢査程度の向上するものにして實に米改良の狀況より視る時は非常なる進歩を見るべきものとす而して特等米の本年度に於ける減少は要するに日本及び滿洲方面に玄米を以て輸移出するものゝ減少によるものにして殊に前年度の特等は其大部分は東拓會社のものなりしも本年度に於ては更に是れなく且つ古米は既に品傷を生じたるもの多くして如何に精選するも特等米と爲す能はざるも新米に於て僅かに六叺を出したるものあるは之れ亦日本人の僅かに自作しつゝある小農のものなりとす而して其米種に於ては各郡の比較的多數となりたるは各郡の獎勵等に於て奬勵したる結果に外ならざるも亦雨量の多き爲め日本種の附加したると早稻に於ては日本種の多きが爲めなりと

大豆	上格	下格
大正五年十月	一〇,〇一八	五三,七一七
大正四年十月	二,四六四	五八,三六〇

大豆の比較は前期の如くにして上格を增加したるは特に精選器の備付を獎勵し上品の搬出を計りたる結果なりと云ふべし此の如くなるも又一方には米豆共に其價格の昇進にも因るものに外ならず（釜山）

○群山客月經濟

朝鮮銀行群山支店調査

▲金融の緩急　九月は一般の商狀端境期に際したることゝて資金の移需亦伸張に乏しく大勢尚緩慢の域を持續したりしが十月に入りてより農家は愈々秋收を始め新穀の出廻りは逐次增加の勢にて米界は漸く活氣を呈するに至りたり然れ共本年は夏期水害のため麥等の作物不況なりし結果として喰込みの關係もあり出穀の模樣も例年に比し幾分出遲れたるの傾向にて廻著米は奥地需要に向け輸送するもの尚ほ可なりに多く古米の如きは殆んど其姿を見る能はず上月までは地需の爲め移出依然として不振の狀況にあり從て資金の需要も捗々しきものあらざりしが流石に出穀の盛期に入りたる米界は出廻りの激增と共に急に活躍し始め爲めに地方に於ては籾摺業を開始するもの續出し廻米は至極敏速に行はれ米價も好調を保ちたれば久方振り內地注文に出合相場を表し取引順境に進み資金の流轉圓滑にして一方移入商品も概して賣行き宜しく綿布絲の如き近來稀なる活潑の商狀なりしを以て之等資金の需要は益々增加を來し金融は繁忙の裡に越月せり今之を當店の金銀出納高に依て見るに前月に比し七十三萬八千餘圓の殖高は二十八萬九千餘圓を各增加せり▲貨物の集散　十月中內地期米は目覺しき活躍を見ざりしが正米市況は一體に落付商人側は前年來の結果により强氣を豫想するもの少き模樣にて月末高氣配を報ぜられたる外は甄動薄く月末相場は改良玄米十二圓三十錢見當を唱へ之を前年の同期と比較するに實に二圓二三十錢方の上鞘を示し好調なり牛皮は爾來露國向軍靴の製作に依り市價も泥流狀態にありて幾分弱含みなるが出廻り捗々しからざるが如し移入商品の內糖粉は爾來需要期を過ぎたる姿にて著しき市價の高低なきも石油マッチは海外市況の影響を受け前途高値を報じ引締りを見せ綿布類は原料高等

○京畿租稅驛屯土收入

客月三十一日現在京畿道租稅並驛屯土收入狀況を聞くに左の如し

▲地稅　調定濟額七十圓に對して收入七十圓ありたり

▲市街地稅　調定濟額二十一萬三千五百四十九圓に對して十五萬八千二百五十八圓の收入あり此收入歩合即ち七分四厘一毛

▲戸稅　七萬三千四百七十九圓の調定濟額に對して七萬三千百十八圓の收入あり此收入歩合九分九厘五毛

▲家屋稅　論定濟額四萬七千百八十二圓に對して四萬一千百七十四圓の收入あり即ち收入歩合八分七厘二毛

▲酒稅　調定濟額八萬九千六百十五圓にして五萬四千九百三十圓の收入あり此の收入歩合六分二厘一毛

▲煙草稅　調定濟額廿五萬二千四百卅四圓に對して廿一萬八千七百五十二圓の收入あり收入歩合即ち八分六厘六毛

▲鑛業　調定濟額九千九百六十二圓に對して八千五百六十二圓あり收入歩合八分五厘八毛

▲所得稅　調定濟額四千四百五十三圓に對して四千四百五十三圓あり

▲雜稅　調定濟額四千三百二十五圓に對して四千百六十五圓あり收入歩合九分六厘二毛

▲租稅計　調定濟額六十九萬五千零六十八圓に對して五十六萬三千四百七十二圓あり此の收入歩合八分一厘なり

▲驛屯土收入　調定濟額十六萬九千二百四十一圓に對して一萬零八百十一圓の收入あり此の收入歩合六分六厘四毛なり

◎酒令實施と平南

平安南道に於て製造する朝鮮酒以外の酒類中醸造酒は一石に付き五圓蒸製酒は石六圓の割合を以て稅令實施と同時に各地共値上げをなしたるが輸移入酒類に對しては各府郡共一齊に稅合相當額の標準を以て値上げをなしたる南浦に於ては洋酒に限り尚從前と同價格を以て販賣しつゝあり又朝鮮酒は小賣一石に付き一圓七十五錢の割合に値上し燒酎は平壤鐵道沿線各番邑內當業者は略ぼ稅額を標準として値上げしたるが鐵道沿線以外の地は未だ値上げの運に至らずと云ふ因に平壤府當業者は輸移入酒に對し更に一石五圓の値上げを實行したり（平壤）

◎平南道の果實

平安南道に於ける本年果實收穫は苹果一一六八〇箱（一箱三貫）梨九三九三箱葡萄二八五一貫桃五九七〇箱にして之を府郡別にすれば平壤苹果一〇四箱梨二八〇箱鎭南浦苹果七〇四箱梨五五八箱桃五九九箱葡萄八二九貫大同苹果一四六六箱梨一〇七〇箱中和苹果四一四箱梨一〇一箱桃八二箱龍岡苹果七七三六箱梨六〇四五箱桃一四六八箱葡萄四七四貫平原苹果二七〇箱梨二〇九〇箱桃二一九八箱葡萄五五貫安州苹果九五〇箱梨九四箱桃三四六箱葡萄六一貫なりと（平壤）

◎客月釜山金融

[illegible]入れるに拘らず天候陰晴定まらずし[illegible]見るべきものなかりしが新穀の出廻り[illegible]て奥地米は乾燥意の如くならず爲め[illegible]り增加につれ相場も漸次引合を見る[illegible]なりしと大豆の出廻り盛期に入りて[illegible]本月間の當港廻過貨物額は五九四〇[illegible]移入方面にありても綿絲布其他各向[illegible]諸雜貨の賣行き良好にして輸[illegible]出に在りては前月に比し二十四萬九[illegible]千二百三十九圓を增加して六百二十[illegible]圓金銀受入高二千三百四十六萬四千[illegible]一圓同拂出高二千三百四十六萬六百[illegible]虎疫流行の爲め萬一を慮り來る十[illegible]本月中旬統營港に於て開催豫定の處[illegible]を行ふ害▲統營港の昇降場　今回統營面[illegible]適合資會社にて同港の一般旅客昇降場を階段式に改築する事となれるが竣功の上は一般昇降客[illegible]

◎大屋長官歸任

旣報の如く東上中なりし大屋鐵道局長官は十一日午後九時南大門驛著列車にて歸任せり

◎村田氏消息

吉原氏の歸東を送りて釜山まで赴きたる村田俊彦氏は十一日夜發連絡船にて尚ほ吉原氏に隨ひ下の關まで行く事となりたる旨某所に通報ありたり

▲鎭海昌原道路　十月一日より著手されし鎭海昌原道路工事は其後三工區に區分し日々三百餘名の工夫を使役し工事に從事しつゝあり當初硬岩なりと鑑別したる岩石も思の外軟岩にて工程も豫期より進捗せる模樣にて工事擔當者も大に喜び居れり（鎭海）

人事消息

▲賀田金三郎氏（實業家）十一日夜入京巴城館へ
▲淺見竹次郎氏（總督府判事）同上不知火へ
▲千綿悲丙氏（總督府判事）同上
▲土居惧夫氏（總督府判事）同上

南言北語

佛國から歸つた阪谷男一行には却々珍聞も多い樣だが其の一として一行が巴里滯在中是非一度戰線を一巡して呉れと勸誘されたた▲一行も之には大に逡巡したが決して危險はない自動車で第一線迄行けるから徒歩の必要もないとの事に▲まさか腰を拔かすも日本男子の面目に係ると大力味に力味一代の勇氣を出して然らば是非見せうと云ふ事になつた▲行つて見ると成程第一線迄自動車が通るのみならず塹壕の中も自由自在に自動車で飛び廻れる▲規模の宏壯と設備の整頓せるは全く驚くより他にない▲第一線は敵と相距る僅に二百間計りで殆ど話も出來る位近い▲塹壕から頭でも出そうものなら最後直ぐパチンとやられる▲一行中の森財務官は愉快になつて盲蛇に塹壕へ飛上つた▲サア大變士官から怒られたの何のつて『貴方一人が撃たれる分には一向構はぬが其が爲塹壕の所在が敵に知れたから猛射されたら何うなさる』▲と云ふ事で極め付けられて森君頭を掻いて恐縮した相な▲先月獨逸の潛航艇が商船を狙つて米國大西洋近海に遊弋して居ると云ふ情報があつたので英國艦隊は直樣出かけた▲早速西印度諸島のバハマ群島に行つて見ると成程一隻の潛航艇が居る▲御座んなれとお定りの手續きで捕拿しやうとすると▲之れは米國の活動寫眞會社の所有潛艇で得意の冒險寫眞を撮る最中だつた▲英艦の落膽失望米國方の狼狽は其儘活動のフイルムだつたとは滑稽

轉居

旭町一丁目三十番地
阿部充家

眼耳鼻咽喉科 主任 金澤醫學士 荒川正雄

去る五月以來擔當學科研究の爲め福岡並京都帝國大學へ出張中之處今般歸院致候に付從前の通り一般診療に從事致させ候也

仁川病院
電話 事務室用 一六番 病院用 五二〇番 院長自宅用 六〇九番

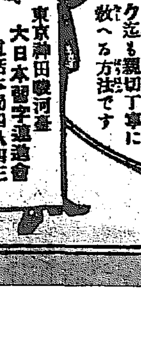
習字の速進法

書 日高秩父先生 阪正臣先生

惡筆を直すには手習の仕方に依る
夜の一時間を割いて學ばれよ

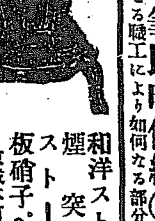
見本進呈

字の下手な人は手習ひの仕方さへよければイクラでも上手になれる物は試し先づ本會に入會して六箇月練習して御覧なさい自分ながら驚く程メキメキと上手に成れます此の習字法は日高先生の御考案で正しき字型と運筆法をアクまでも親切丁寧に教へる方法です

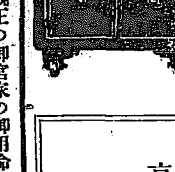


東京神田駿河臺 大日本習字速進會 電話本局四八四三

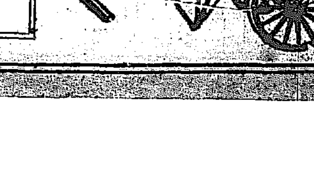
各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所



和洋ストーブ一式
煙突製造
ストーブ据付
板硝子ペイント塗料
京城本町二丁目（電話四二二三番）
岩見伊勢松商店



安全第一
△諸官廳御用
銀行會社御用
△全鮮消防組御用



京城本町二丁目
熊平支店
電話六二四番 振替京城三三番

朝鮮特産
伏見親王の御宮家の御用命を拜したる人蔘界の大王
純人蔘精腦を必要とす
定價 十日分 七十錢 三十日分 一圓八十錢 六十日分 三圓二十錢 九十日分 四圓五十錢
本劑の奏効絶對に確實なるを普及する爲「當分定價の二割引」を以て提供す
藥書の申込に應ず
京城府長谷川町五八番地 朝鮮製藥專賣所 電話一三〇九・振替口座京城三八一〇番

イゲダ小兒病內科醫院 池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院 一三三四番 自宅 八八〇番）

…の減收を[illegible]せるにより…勢の氣配を示せるも當地相場には差したる影響なくして經過したるが下半月に入りては漸次新穀の出廻期に…場との相…の上鞘を示せるにより移出不引合を唱へて此方面資金の需要依然として…

…○八一四百七萬七千二百四十一圓精…米七萬八四百十一萬五千三百十九圓…星し殊に綿花買付資金を…著しく少額銀行券の需要を喚起したり…

…る狀態にして一般金融の狀況は…遂て漸次…の域に向へり…當地七銀行の月末帳尻に徵するに貸…圓同拂出高三百三十一萬二千七十五…二千八百六十七圓を減…高三百萬八百七…示したり

統營

▲水產品評會 統營開城…期中には教育展覽會其他各種の會合を催す由▲統營神社は本月中に竣功を見るべき豫定にして品評會會期中に其式祭する由▲馬車開通…道路開通には近々…

陸軍特別大演習

□燦たる御旗の影も勇ましく

大元帥陛下大本營御着＝文武百官奉迎

大元帥陛下には十日午後五時三十分佐世保軍港に御上陸十一日午前十時四十分博多驛に著御遊ばされたり此の日同驛には奉迎の文武百官有位有勳者並に有資格者蕭然として奉迎し大山内大臣波多野宮相寺内首相長谷川總督各大臣其他高官は佐世保に奉迎申し上げたるが博多驛頭なる奉迎門の内側には閑院元帥を初め陸軍の將星、統監部職員、外國武官等の劍光帽影眼を奪はん許りにして其他市長貴衆兩院議員のシルクハット、フロックコートの紳士にて立錐の餘地なし奉迎門の外側より吳服町、天神橋に連れる街路には軍隊學校生徒等にて道を埋れんばかり折柄降りしきる秋雨に濡れつゝ靜肅に奉迎せり斯くて定刻に至り一發の花火を合圖に御召列車は徐々停車場構内に入り來り陸軍々樂隊の君が代の吹奏裡に龍顏麗はしく御下車直ちに大本營に向はせられたり御馬車には内山侍從武官長御陪乘鹵簿の先頭には銀線の如き秋雨を衝いて燦然たる天皇旗輝き渡れり(十一日午後一時十分＝福岡にて金谷特派員發電)

▽南北兩軍々隊區署

兩軍何れも鳥栖附近に前進

▽兩軍前兵進發

十一日午前十時恰も大元帥陛下博多驛著御の日北軍の前兵は秋雨を冒して南進せり(十一日午後一時十分＝福岡にて金谷特派員發電)

△北軍

北軍司令官は十日迄に得たる情報に基き鳥栖附近に向つて前進することに決し左の如く區署を定む

一、騎兵隊は二日市方面より佐賀、瀬高、山鹿、豆田、大分方面の捜索を行ひ特に筑後川の橋梁破壞に努めしむ尙援隊として步兵一隊を附す

二、飛行機隊は午前十時より飛行し彼杵、熊本及び大分方面を捜索し筑後川に於ける南軍渡河設備の偵察及び橋梁の破壞に努めしむ

三、A兵團は午前九時香椎下山田の線を出發し田代、福間に亙る線に向つて前進し其の一部隊を大浦を經て佐賀街道に派遣す

四、B兵團は午前九時小坂を出發し古飯、大城(筑後川北岸)の線に前進すべし

△南軍

南軍司令官は十日迄に得たる情報に基き成る可く速かに筑後川右岸に兵力を集結し敵を索めて攻撃する目的を以て鳥栖附近に向ひ前進することに決し左の如く區署を定む

一、甲兵團は午前八時津留平山下、坂下の線を發し主力を以て福島町を經て一部は南關、狩犬塚村を經て筑後川の線に向ひ前進す

二、乙兵團は午前十一時小城、牛津をつらぬる線を出發し鳥栖西方高地に向ひ前進す

三、騎兵隊は飯塚福岡方面の敵を捜索し敵の前進を遲滯せしめ已むを得ずんば軍の到著迄弓削村下流筑後川の諸渡河點を占領するに努む

四、飛行機隊は飯塚、福岡方面を捜索し師團との連絡を取る事

五、軍司令官は南關、狩犬塚を經て前進す(十一日午後二時七分＝福岡にて金谷特派員發電)

▽北軍飛機翱翔

十一日午後二時二十分北軍の飛行機御野立所の上空を掠めて南方に向つて飛び去れり(十一日午後二時二十分朝日山にて金谷特派員發電)

▽飛機下命

北軍々司令官は麾下の飛行機に對し左の命令を發したり

福岡大浦神崎道の偵察を爲し午後二時以後に於て二日市鳥栖神崎小城道南方江口、佐賀、牛津道特に朝日山(鳥栖附近)にて敵が陣地を占領すべき事あるや否やを注意し久留米福島山鹿黑木方面の偵察を爲すべし十一日午後一時佐賀附近東南方にて敵が筑後川渡涉の企圖の有無を偵察し若し渡涉せんとする時は妨害すべし橋梁は爆破すべし午後一時二日市内野に於けるA、B兵團の各縱隊は先頭の位置を仔細に隣接兵團に通報すべし軍の前進に伴ひ〇〇を〇〇地區に躍進すべし(十一日午後二時三十分朝日山にて金谷特派員發電)

▽開戰劈頭の衝突

北軍騎兵は十一日午前七時三十分長尾發南軍騎兵は同八時鳥栖附近を出發し前進せり十一日午前九時筑紫附近に於て南北兩軍騎兵最初の衝突あり南軍騎兵は筑紫を占領せり之れ實に開戰第一の衝突なり(十一日午後二時二十分朝日山にて金谷特派員發電)

◉兒玉伯 別れの盃を銜んで

青年は海外へ！と說く

朝鮮ホテルの官民聯合送別會の歡聲

官民合同の兒玉伯送別園遊會は十一日午後二時から朝鮮ホテルに催された、打ち續く小春の空は今日も

▲長閑に晴れ 渡つて來會者は定刻前より踵を接し休憩室に雷備門の山鹿送りが始まつた頃には其の數既に五百名と註せられ送別會としては殆ど總督府開始以來の盛況と評されてゐた、軈て爆竹を合圖に一同立食場に入ると國分司法部長官頭を註つて發起者側を代表し伯の送別に乘ねて榮轉祝賀の挨拶を述べ、山縣政務總監の發聲で一同萬歲を三唱三鞭の盃を擧げると兒玉伯は

▲急霰の如き 拍手に迎へられ徐に起つて寺内伯よりの深厚なる傳言を述べたる後自分の理想は帝國の發展に在り之れは自分許りでなく今日籍を帝國に置く青年諸君は何れも又た御同感と思ふ從つて自分の本懷とする處は海外に出て働くことであつて、内地に引き込んで其の行政事務に鞅掌することは少しも考へては居なかつたのである然るに端しなくも久しく

▲此發展地に 於いて共に働らき來つた諸君と御別れせねばならなくなつたことは如何にも殘念に堪へぬ處であるが自分の若い時代の血と淚とは此の朝鮮に注がれた事を思ふと幾分自ら慰め得る點がないでもないとの意を述べ、更に一同の健康を祝して盃を擧げる、此の時内庭に設けられた

▲餘興場では 準備全く成り音樂隊の吹奏裡に一同の退場を迎へて美妓十數名の手踊りが始まる、綾やかな三味の音は鮮かな舞の手振と或は縺れ或は解けて微醺を帶びた觀覽者の面々は滿足の微笑が浮ぶ、斯くて目出度く舞ひ納めると爆竹一發各種の模擬店は各種の意匠に依つて

▲一齊に開始 せられ一同雪崩を打つて之に向ふ肩章帶劍のいで立ちでおでんを嚙ろものもあれど絹帽燕尾の大禮服姿で生蕎麥の御代りを歎願するものもあり、上戶と無く下戶と無く動くに任せて食指を振つてゐる中を主賓の兒玉伯は寫眞のレンズに付き纏はれながら縱橫に縫うて廻はつた

▲愛嬌を撒て 行つたが四時を過ぎる頃には順次退場者を增し五時を報じた時分には何れの模擬店とも店を仕舞ふに急がしかつた

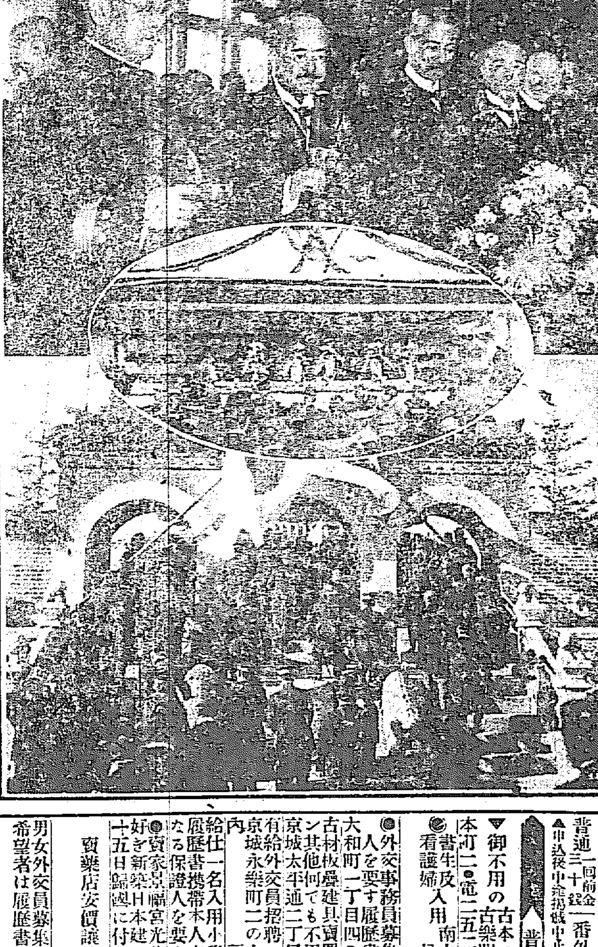
盃を擧げつゝある 兒玉伯

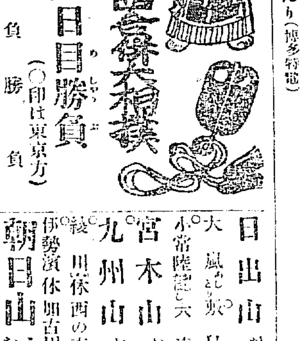
◉直訴嫌疑者

鹵簿御通過前を徘徊す

十一日午前佐賀市紺屋町一丁目石居職野田元一妹いま(三十)は精神に異狀を來し鹵簿御通過前を徘徊し居りしより直訴嫌疑者として鳥栖警察署に留置されたり(博多特電)

兒玉伯送別會　(上)乾盃＝(中)餘興手踊り＝(下)盃を捧ぐ會衆＝朝鮮ホテルにて





東西合併大相撲

△九日目勝負(○印は東京方)

勝	負	勝	負
○神錦	朝千鳥	○太刀嵐	玉手山
○常の花	玉の音	○男島	上州山
海山	○朝日山	○荒玉	駒ヶ嶽
○駒泉	朝日嶽	○一港	鳴門若
○逆鉾	朝風	稻鶴川	龍ヶ崎
日出山	○大の川		
○大嵐	○蝦島	岩木山	小若島
小常陸	六達	○釋迦嶽	大門
○宮木山	源氏山		
○九州山	千舟川		
○綾川	荻西の森	○對馬洋	有若
伊勢濱	休	知古川	
朝日山	うけて	○西の海	なげ
○國	中入	○後	
○兩國	二瀬川		
黑瀬川	○荒岩		
栃木山	時の矢		
大錦	○大泉		

右の内▽小常陸に大達は左四ツ小常陸ふりて寄り進み達が右手に首を卷いてウツチャランとするを寄り倒して小常の勝▽釋迦ヶ嶽に大門は門左を差して寄るを門投げを打つて釋迦の勝

▽宮木山に源氏山 は源氏山左を差さんとせば宮木その手を卷き込み左を筈に宛てゝ押進み押切つて宮木の勝は大喝采

▽九州山に千舟川 は千舟左を差しかんとす肩透しを下を九突き除けやすを筈に當つるやツル〳〵と押切つて勝▽對馬洋に有若は對馬立ち上がり張りさま敵の左を引けを打ち込んで小手投の廢す

大門岩 金の花　朝日潟 ○國見崎　成瀬山 初嵐　大砲 ○七州山　宮城山 矢

▽西の海に朝日山 朝日立ち上りさま双筈にて押進むを西土俵に廻して左四ツとなるや煽ふを遂かさず渡り込みて勝

り立て寄り進むを朝に上手投を打ては美事に極まつて朝日の勝は大喝采に中入▽兩國に二瀬川は兩敵の左手を取り小手投げ極まる▽栃木山に時の矢は右四ツにて鳥渡揉み合ひ吊り出して栃木の勝▽黑瀬川に荒岩は左四ツ荒懸命に喰ひ下がるを强引に吊り出して黑瀬の勝▽大錦に大泉は一合して左四ツ泉が足癖に行かんとするを吊り出して錦の勝にて四時四十分打出したり

▽勝負ご電報不著 中入後兩國二瀬川取組前の勝負電報は不着に付き十二日夕刊にて報道す可し

△十日目取組(○印東京方)

(玉の音 大門岩)(小若島 朝日山)(大砲 朝嵐)(初嵐 一港)(王櫻 四國洋)(時ヶ嶽 成瀬山)(宇都宮 源氏山)(九州山 栃木山)(大達 對馬洋)

(朝日山 伊勢濱)

(朝風 國見崎)(駒ヶ嶽 玉勢)(朝日嶽 逆鉾)(日出山 常の花)(大嵐 大の川)(千舟川 龍ヶ崎)(大泉 小常陸)(西の森 釋迦嶽)(荒岩 兩國)

(二瀬川 西の海)

(朝日嶽 神錦)(金の花 兒島洋)(宮木山 駒泉)(響矢 寒玉子)(大門 上州山)(有若 宮城山)(時の矢 紅葉山)(朝千鳥 岩木山)(黑瀬川 大錦)

新築落成せる稻荷座

◉稻荷座舞臺開き

大瀬某を座主とせる寄席稻荷座は過般來より本町五丁目に新築中のところ此の頃竣成大阪落語三桝紋彌改め三升家紋右衞門一座を招き十二日より華々しく開場する事となれるを以て十一日午後一時より同座關係者其の他百餘名を招待し盛んなる舞臺開きを爲したるが餘興として紋右衞門一座の皿廻し、曲藝、手踊等あり何れも大喝采の内に四時散會したるが十二日より引續き興行を爲す由

京日案内

普通一回前金一圓 三十錢 番外一回前金六十錢 一行五錢增 無割引 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▽御不用の古本古樂器は絶大の信用ある 本町二丁目 電二五二七 ウツボヤ書店 591

◉看護婦及書生入用 南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 695

◉外交事務員募集 人を要す履歴書携帶あれ 確實なる保證 大和町一丁目四八 朝鮮寫眞通信社 694

古材木板疊建具買ひます其他何でも不用品高く買ひます 京城太平通二丁目八九 原田古物店 692

有給外交員招聘 但舊官吏望む 京城永樂町二の七 五十友合資會社 福德生命保險會社 691

給仕一名入用 小學校卒業の者希望者は履歴書携帶本人來談あれ 市内確實なる保證人を要す 漢湖農工銀行 690

◉貸家 新築二階家 光化門西側 有望見晴し好き 日本建 敷地共 本月十五日歸國に付至急 寶成行 寶秀島 689

賣藥店安價讓度し (姓名在社) 697

男女外交員募集 月收金五十圓確實 希望者は履歴書携帶本人來談あれ (姓名在社) 696

◉内田疊店の新築落成移轉 市區改正に付左記の處へ移轉仕候 京城黃金町三丁目 電話二六九七 686

◉產婆、看護婦及見習生數名採用す 希望者は本人直接來談 旭町一丁目 中央婦人病院 687

◉貸家 溫突付日本建 五圓半 官吏別莊的三坂通練兵場上 管理人舊龍山印刷局先 畑中 606

古本なら野村 買入誠實 御報參上 明治町筋 電二六三六 野村書店 636

番外

殺男入用 身體强壯勞働に耐へ得るもの本人來談 龍山元町一丁目 畠山酒造場 (電話一五四番) 664

吳服業に經驗有る廿二三の者一名月給金五圓以上十五圓位十五六歲の小僧二名月々手當を給す 希望者履歴書送れ 江原道春川邑内 大和屋吳服店 688

◉落葉松苗木 京釜線芙江驛 芙江苗圃 682

◉落葉松苗木 京釜線芙江驛 芙江苗圃 683

◉落葉松苗木 京釜線芙江驛 芙江苗圃 684

◉落葉松苗木 京釜線芙江驛 芙江苗圃 685

◉京城春川間行自動車賃金片道四圓 京城春川間毎日午前八時出發 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自動車 主務 金正淵 630

小兒科 内科 大和町一丁目(日の出橋下る) 爲春堂醫院 院主 古城俱吉 (電話九二八番) 656

綿るい蒲團 貸蒲團も致します 極力安價御需用に應ず 京城若草町湯ノ隣 取次電話二五四〇 ヒロセ 658

橘流 筑前琵琶教授 出張教授應ず 京城壽町十三ノ一 江頭旭米 679

恩給年金低利長期即金融通 立替 ▲當分最長期 ▲商品陳列館表門前 ▲京城永樂町一 江州屋本店 654

礦物定量分析 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 坂元分析所 電話一三四四番 655

鑛山經營 重石買入 金石商會 電話一八九九番 ▲鑛物分析並に鑛山測量製圖 604

恩給年金月利壹分即金 立替 利子前引せず確實掛引なし秘密嚴守 京城若草町通中央郵便ポスト前 西村商會 639

大正五年上半期決算報告(自五月至九月)

貸方

科目	金額
資本金	四五、〇〇〇・〇〇
法定積立金	參〇、五〇〇・〇〇
別途準備積立金	七五、〇〇〇・〇〇
所有物價却積立金	壹參、〇〇〇・〇〇
配當準備積立金	六〇、〇〇〇・〇〇
仲買人身元保證金	貳〇、〇〇〇・〇〇
賣買諸證據金	壹五六、壹六五・〇〇
諸預り金	四四・〇〇
受渡米代金	六四、五〇〇・〇〇
前期繰越金	七、五八〇・六七
當期純益金	六九、八貳五・〇五
合計	五四壹、六壹四・七貳

借方

科目	金額
地所	貳五、〇〇〇・〇〇
建物	貳貳、〇〇〇・〇〇
營業什器	貳五〇・〇〇
所有價證券	壹、參壹貳・五〇
銀行當座預金	參九七、八八九・七貳
貸付金	壹貳、參〇〇・〇〇
定期預金	貳貳、〇〇〇・〇〇
別途預金	貳〇、〇〇〇・〇〇
仲買人立替金	四〇、七六貳・五〇
電報料前金	壹〇〇・〇〇
合計	五四壹、六壹四・七貳

利益金ノ處分

科目	金額
當期純益金	六九、八貳五・〇五
前期繰越金	七、五八〇・六七
合計	七七、四〇五・七貳
法定積立金	參、五〇〇・〇〇
別途準備積立金	貳七、五〇〇・〇〇
所有物價却積立金	壹、〇〇〇・〇〇
配當準備積立金	壹〇、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	六、九八貳・〇〇
株主特別配當金	貳貳、五〇〇・〇〇
株主配當金	四、五〇〇・〇〇
後期繰越金	壹、四貳參・七貳

右ノ通ニ候也

大正五年十月

株式會社 仁川米豆取引所

新刊書御案内

書名	著者	定價
宗演禪話	釋宗演著	定價九〇
支那大觀	立花政一郎	特一、二〇
關東洲原始拾遺	黑田鵬心著	特價一、八〇
訂正五版 泉美術史		
芭蕉翁全集	同(巖谷小波共著)	一、三〇
ロンブローゾ死後の生命	中村古峡	一、三〇
例解詳說英文典新釋	南日恒太郎閲 清水起正著	定價九〇
村莊小言		

大阪屋號書店 京城本町

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 振替三〇〇番 京城日報代

女鳩

渡邊默禪

『一五七』お願が

鈴木老人は代つて事實を話した。鳩子は住江と秀子との間にそんな表立つた事ひのあるとを知らずに、只住江から送つた手紙を目安にして、双方でオブラートに苦い藥を包んだやうな不快な感情を持つゞけて睨み合つてるとだとばかり思つてゐた。其後それほどまでに事件が發展してゐようとは想像しなかつたので驚き樣も一層であつた。荒み切つた秀子の心に、殺う隙もなく惡魔が食ひ込んでゐるのを嘆き悲む思と、その慘たらしい呪の答に、もがき苦しんでゐる住江の境遇を哀み傷む思とが、より〳〵に縺れ合つて何とも言ひ樣のない胸の痛を感じた。この場で叔父や鈴木に何と答へてよいのか切ない自分の感想をいひあらはすべき詞も見出すことが能きなかつた。

『まア、そんな有樣ぢやでのう。お前も一つその含みで嚴重にやつて貰はんけりやならん。一體個樣なことは當家の主人が歸宅したのを機會に命令的にびし〳〵處分すべき筈ぢやが、あのやうな精神病者になり居つては、それどころの騷ぎぢやない。といつて何時全快するのやら、快くなる當もない病氣ぢやのに、いつまで放任して置くといふ譯にもいかん。輝子にしても何う〳〵十歳の時に押籠めて置くことは能きない。後で不法監禁ぢやの何ぢやのと騷ぎ立てられても困る。おやで萬事は私が主人に成代つて、お前と鈴木と相談をして、どうにか處分をせんけりやなるまい。と思ふがそれに就てお前の考があるなら話して見るがよい。』

鮎山子爵は鈴木の話の畢るのを待つて恁う言つた。鳩子は只『はい』といつたゞけで凝然と考へ續けてゐた。

『住江は無論冤罪ぢや。鈴木が內々取調べた所に依るも、又た私の判斷から言つても、凡て秀子が陷れたものに相違ない。が、併し住江はどう思つてか、それについて一言の辯解もせん。只御主人や鳩さまがお歸りになるまでは何にも申しますまいとのみ言ひ居るさうぢや。秀子の惡辣な手にかゝつて、慘酷な目に遇ふた住江は實に哀むべき女ぢや。』

『……。』鳩子は同じ思に胸が一杯になつて來て、ほろりとせずにはゐられなかつた。

『恐らく輝子の入智慧ぢやと思ふけれど、只密會した所を見られたとけで、左樣に住江を怨み、手ひどく當り散らすといふ彼等の心持が分らん。或ひは何か夫以上の秘密でも住江に握られて居るのぢやないかと思ふんぢやが。』

その言を聞いて鳩子は內々ほつとした。もし秀子が外人の血をうけた私生兒であること、實の父の復讎をするなど愚かな意地を持つて、君と駒を呪つてゐることや。輝子と生駒と腰し合せて、秀子を相續者とするために、自分の生命を斷たうとしたことなど、叔父が知つて居るならば、とても秀子を救ふ途がないと、それはかりを思ひ煩つてゐたのであるが、其處まではまだ眼が徹つてない樣子なので、聊かながらも秀子の前途に光明のあることを嬉しいにつけても大野が自分の無理な願を容れて、此期にたるまでも秘密を守つてくれたことを、心から感謝しない譯にはいかなかつた。

『で、兎に角、明日の朝、關係者一同を呼出して、嚴重な取調をやつて見ようと思ふが、お前に異存はないか。どうも家庭の風紀上、個樣なことを一日たりとも打棄てゝは置けんぢや』

儼然として言つた。と、鈴木は鳩子が默つてゐるのを見て

『御異存のあらせらるゝ筈はございますまい』

と合槌を打つた。鳩子は稍と俯けた顔を擧げて

『承知いたしました。ですけれども叔父樣。私しにお願がございます。どうぞ其のお調べは明日一杯だけお待ち遊ばして下さいまし。私しから一應姉さまにお話をして、ようくお心を伺ひたいと存じますから』

坊が喜ぶ　木村屋パンに添へてやりましよキヤラメルを（京城明治町 電話一八七〇）

印章と名刺　京城本町二丁目　千代田號　電話一三三六番　●各國萬年筆修理仕候

新小說豫告

怒濤の月

小林蹴月作　武內桂舟畫

同情すべき處女の貞操、憫むべき青年藝術家の意氣、放縱なる貴族の歡樂、我慾一點張の事業家の魂膽、以上は卽ち此の『怒濤の月』の主材となつて居るのです。重疊の波瀾、天來の奇筆、恐らくは我が讀者をして、痛快を叫び、手に汗を握らしめずには措かぬだらうと思ひます加ふるに、挿畫は現代風俗畫の第一流武內桂舟畫伯が高遠颯爽の筆に成るもので、是亦錦上花を添ゆるの感あるは、疑ひなき所、敢へて愛讀を賜へ。

回俳諧寂心（第十五回）　青丘

冬立つや干芋落ちし闇の音　田打夫
陽を追ふて爐干す農閑爐を開く　雨芒
雁首の太き煙管や爐を開く　浩一郎
初冬やゆすり落して枯葉かな　耕伯
出航の銅鑼鳴る船室や今朝の冬

□水原華城會俳句輯　晴石選

七點

稻妻や鳥邊の道は物凄し　川
籾と見しは雲なり稻光り　石
稻妻や遙かに響く水の音　清
秋立つて輕きは人の心かな　曉
持主のわからぬ忘れ扇かな　曉
いたいけにぬれて朱しや雨の萩　五
世を捨てし欲三昧や萩の庭　晴
丸髷を包みきれたる踊哉　石

稻妻や階に通る鹿の陣　仙
天高し秋の立つらし雨暗る富士　坪
秋立つて雲なき空の高さ哉　五
立秋の雨に露けき庭の萩の花　雄
白萩や細く淡き鳥書院　枳
頭から山に長寸めし浮名哉　知
稻妻の雲より雲に通ひ見る　石
秋立ちて引籠りたる心かな　穗
萩の戶の主は若き女哉　冠
三光
人禮暮れて月ほの白き萩の原　如
秋の空よし十日の好い娘哉　其
天地の中寺に秋立つ朝の好哉　五
初秋の日に入る山の麓かな　同
　選者

新刊紹介

▲富國の經濟化及社會政策的利用論（佐藤正五著）著者の所謂如何なる貧乏人に自己を樂しく國家的一大經濟事業に參する一人なりとの念を能く適切に感ぜしむる必要ありて著者の奇抜なる富籤法を以て株式會社を組織し消費勤を節まんとする方法を說明するものにして著者自身も其實行を主張し同論を略述して議會に請願して其の成立を計るべしと言へり一圓（經濟日報社東京市神田區神保町東京堂）

▲化學工業の發達（創刊號）醫藥界の將來なし大千餘人東京府市內化學工業界に現時に於て其の旨趣を述べて其の實地を明かにすべく其の製造工業方面に於ける事實を列し凡て技術方面の一般的普及を目的として生れたる雜誌にして其他の部門に亘る實際的學術等を紹介しなり卷頭に學校其他實用的に有益なる一大工業的雜誌となりて居ると也（會費月五十錢東京市麹町區飯田町五の一一大日工業協會）

▲中等教育（修身科改論號）個人主義の時間に作ふ雜誌を比較する方法なる研究に對し新納油造氏などを主とせる中等教育研究會討議に適せるものなるが會員は全國中等教員實際家のみなるを以て言に聞くべきもの多し（會員組織東京市牛込區市ケ谷加賀町一の二中等教育研究會）

▲日本魂（十一月號）立太式の沿革（佐伯有義）助長と助（江原素六）日本魂の主義（井上哲次郎）【社會問題】紀元節の歌についての（永井建子）等の外名士さ五分間、時事短評、海外近事、其他を収めたり（二十錢東京市京橋區三十間堀三の七）

◉効力五倍以上の齒磨　本年の惡疫流行は社會の各方面に暴々影響を及ぼしたる中にも殊に防腐殺菌の力に富めるクラブ齒磨の賣行は近來各地共頓に激增せるが如きは頗る面白き現象なりと元來此のクラブ齒磨の世に現はれたる動機を聞くに譬にも病は口より入るといふ譯へが如く健康を保持する上に於て口腔衛生は最も大切なるにかかはらず從來齒磨の撰擇に就て一般世人の注意缺乏を憂ひし有名なるクラブ洗粉本舖にては先年英國藥學者ヒル、スミス氏を招聘し來りて優秀なる日本の學者技術家等と力を協せて理想的齒磨たるべく研究に研究を重ねたる結果遂に此の理想的の防腐殺菌の力を有するのみならず化學的に頗る強く美しくすること他の如何なる齒磨よりも遙かに優り少くとも五倍以上の効力を有するが故に帝國醫科大學、各醫學專門學校など何れも最も尊重し共の信用最も厚く從ってクラブ齒磨の如きは其の讚辭の中に理想的齒磨としての製品の一般に緊切となれる昨今其の賣行の躍進的に激增しつつあるは怪むに足らざる次第にて一般衛生上最も慶ばしき現象と謂ふべきなり

京畿第一部地方係編纂

民籍 居住 印鑑 法令例規集 全

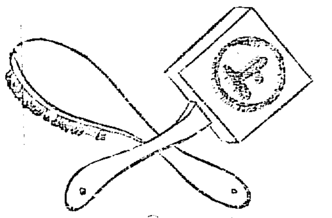
菊版洋綴　紙數約四百頁　正價金參拾五錢　郵税八錢

來十一月十五日迄製本出來着金ノ順序ニ依リ送本ス

民籍ハ個人ノ身分關係ヲ明確ニシ且戶口調査ノ基礎ヲ定ムル重要ノ事務ナリト雖其ノ據ルヘキ法規ノ內容ハ極メテ簡單ナルヲ以テ該手續ハ專ラ其ノ後續出セル幾多ノ通牒例規ヲ綜合シテ之ヲ處理セサルヘカラス然ルニ是等參考書ナキヲ遺憾トシ這回京畿道主務係ニ於テ是等關係ノ法令例規ハ勿論其ノ他執務上稍モ參考ト爲ルヘキモノヲ蒐集シタリ本書ノ色ハ國文ノ傍ニ諺文ヲ付シ以テ內鮮人共ニ容易ニ讀解シ得ルノ便ヲ計リ殊ニ申告書樣式年代對照表及親族圖ヲ附シ尚法令例規ノ內容ヲ一目瞭然タラシメ必要ト認ムル事項ヲ檢索スルノ便ニ供スル爲卷首ニ總目錄ノ外事類別總目錄ヲ付シ又卷末ニ年別索引ヲ添付シ尚本書發行關係法令ノ改發及制定アリタルモノニ付テハ特定ノ時機又ハ必要ト認ムル場合ニ於テ續發セラルルモノヲ以テ府面ノ實務者ハ勿論郡監督者タルト法曹タルト一般人民タルトヲ問ハス皆坐右一本ヲ缺クヘカラサルモノナリ

本書ハ要之レ營利ノ目的ニ出テタルモノニアラス全ク參考書トシテ發行レタルモノナルヲ以テ發賣部數ニ限リアルカ故ニ希望諸彥ハ速ニ御注文アラムコトヲ

發行所　京城日報社代理部　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番



商標 B.T

東洋ブラシ商會

拜啓秋高氣澄の候各位益御清祥奉賀候弊商會事今般自作自給充實の一端として總て朝鮮産の原料を用ひてブラシ製造業を開始致し以て聊か家庭工業の一助たらしめ優良の製品を低廉の價額にて提供可致候間陸續御用命被仰付度御披露旁伏而奉願上候　敬具

工場　京城府貫鐵洞百五拾參番　電話二三八一番

販賣部　北村皮革直輸店　電話一八四六番

太田屋皮革店　電話二三七一番

消化と毒けし　仁丹

旅行に仁丹　イツモ愉快

金言　遠く行かんと欲せば近く行け（西諺）

りん病 ばい毒 專門藥房

京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會朝鮮本部

本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會　電話二五六七番　振替京城四六七番

吾が社は天下に名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります、而して自家製藥の改良に努めて居ります、吾が社の藥が常に世界唯一無二のよりであるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋毒藥黴毒藥の長所を取つて藥味皮び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります、吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は拾月拾日の京城日報御覽、近頃各地に僞ドラッグ續出せり御注意を乞ふ

◉ばい毒藥一週間分普通壹圓武拾錢特製武圓りん病藥一週間分普通武圓特製參圓●送費十二錢引換送費廿壹錢

健康の鍵は

淺田飴

せんせき一切　よはき人によし

本舖　東京 赤坂 堀内

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版 亞鉛凸版　最も精緻なるを期し殊に迅速と親切なるを旨とし御高需に應じ候

京城日報社　寫眞製版部

醇良清酒

大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎

特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎

同　本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

仁丹サック　衛生必携品　一形一個 二十錢　大形十二個以上一割引　郵券代用一割增　外に要送料

京城黄金町三　振替京城三二二七番　山田文殊堂藥房

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行

相模丸　十一月九日　未明出帆
撫順丸　十一月廿日　未明出帆
高砂丸　十二月一日　未明出帆
三河丸

仁川海岸町十一番地　電話五　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神阪行

○大有丸　十一月十八日後四時出帆
○君か代丸　十一月十二日後四時出帆
○神代丸　十一月十五日後四時出帆

仁川港町二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　關東都督府命令航路

第共同丸　十一月十二日入港　十一月十三日正午出帆

朝鮮鐵道主要驛に荷客連絡並に大連にては青島行定期船に接續荷客通し切符取扱申候

阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店　野口商會

元山代理店　田口回漕部　南大門 電話二六八・二〇一七

京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆

外航路所屬船航路逐次減少の時は五分以て運賃割引

○群山、木浦、釜山、馬關、神戶、大阪行
○安東丸　十一月廿三日後五時出帆
○漳州丸　十一月二十日
○天智丸　十一月十六日
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
○信濃川丸　十一月廿五日正午出帆
○信濃川丸　十二月十三日
○群山、釜山、横濱行
○福州丸　十一月廿八日後二時出帆
○漳州丸　十一月十八日
○木浦、神戶、大阪行
○章州丸　十一月　日　正午時出帆
○群山、神戶、大阪行
○須磨丸　十一月十五日後四時出帆
○鎮南浦、大連行
○信濃川丸　十一月廿日　後二時出帆
○信濃川丸　十二月八日
○大連直行
○福州丸　十一月廿二日　正午出帆
○鎮南浦行
○漳州丸　十一月十五日正午出帆
○清津、浦鹽行（元山出帆）
▲城津、西湖津ニ寄港　浦潮不寄港
▲安平丸　十一月十五日後二時出
▲宮島丸　十一月廿一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
○基隆丸　十一月廿九日後四時出
○湖北丸　十一月十三日前六時出

御注意　●印紡鐵道及び市街鐵道聯絡船　●印東船客は總て一時間前に乘船ある可し　△印は貨物船　×印は一等客室なし

京城切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店　電話二一〇五五番

京城切符發賣所　內鮮連運會社支店

●中國四國沿岸各港船客に對し一割引

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
○小倉丸　十一月　日後五時出帆
○立神丸　十一月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
○立神丸　十一月　日後十時出帆
○小倉丸　十一月　日後四時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
○第三琴平丸　十月廿八日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月一日十一日廿一日（十四日廿六日）午後二時出帆

釜山埠頭　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船

本社　電話長一九五一番二三番

京城荷客取扱店　松原運送店（電話一七〇）

○全羅丸　十一月十六日　釜山發
○京畿丸　十一月廿六日
○黄海丸　十一月廿二日
○咸鏡丸　十一月廿三日
門司より釜山各港寄港基隆航路
○穩城丸　十一月十六日
○昌平丸　十一月十三日　元山發
○蔚山丸　十一月十一日
元山より各港寄港浦鹽行
○第二龍山丸　十一月　日　元山發
○忠清丸　十一月廿二日
○平壤丸　十一月十三日
○江陵丸　毎日
○三浦丸　十一月十一日　釜山發
○統營丸　○海州丸　○巨濟丸　○慶寶丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎に　木浦發
○慶興丸　十一月十四日　木浦發
○慶興丸　十一月十二日　木浦發
○公州丸　十一月十六日　木浦發
○宗信丸　十一月十日　仁川發
○江原丸　十一月十八日　仁川發
○麗水丸　十一月十一日　仁川發
○雷州丸　十一月十七日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發

商況

大阪三品特電

下關期米特電

十一月限　一八五〇〇
十二月限　一八四九〇
三月限　一八五四〇

一八四九〇　一八四七〇　一八四九〇

仁川期米

十一月限　十二圓六十二錢　二錢三錢四錢五錢四錢五錢六錢
十二月限　◎六十四錢　五錢四錢五錢◎六十四錢　五錢四錢五

十一月限　十二圓六十四錢
十二月限　十二圓六十五錢

◉窃盜教唆　滋賀縣栗太郡上田村生